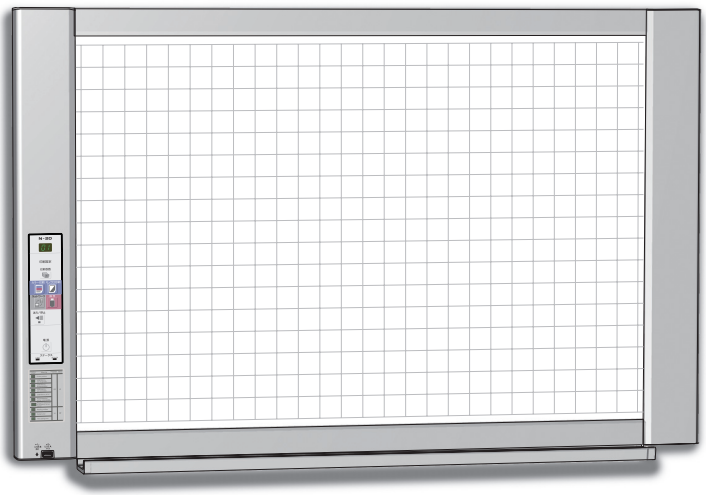
PLUS

コピーボード N-20J

取扱説明書



このたびは、「PLUS コピーボード」をご購入いただき誠にありがとうございました。
製品の機能を十分にご活用いただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。なお、お読みになった後も必ず保管してください。

はじめに

本書は製品型名 N-20J の取扱説明書です。

商標について

- Microsoft、Windows, Internet Explorer は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Safari、Apple、Mac OS、Macintosh は、米国 Apple Computer, Inc. の商標 または登録商標です。
- Adobe、Adobe Acrobat Reader は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。
その他、記載されている商品名、会社名は、各社の登録商標、または、商標です。

ご注意

- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。
  この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
- 法律で禁じられているもののコピーは、所有するだけでも罰せられますから十分ご注意ください。
- 本製品には外国為替及び外国貿易管理法に定める戦略物資に該当する部品が含まれていますので輸出する場合は同法に基づく輸出許可が必要です。

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
（2）本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
（4）本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（3）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
（5）プリンタは PLUS コピーボードの周辺機器として使用されることを前提としておりますので、パソコンと直接接続して使用する場合の動作保証はいたしておりません。
（6）乱丁、落丁はお取り替えいたします。

目 次

はじめに 2
安全上のご注意 4
警告 4
注意 6
お願い 6
ネットワーク・お手入れについて 7
製品の梱包内容 8
各部の名称 9
本体前面 9
入出力端子部 10
スタンド（別売）高さの変更のしかた 11
本体操作パネル 12
本機の機能 13
使いかたの順序 14
時刻設定のしかた 15
印刷のしかた（プリンタ別売） 17
プリンタの準備 17
基本の印刷操作 18
手動でシート面を移動させる 19
USB メモリを使う 20
USB メモリに保存する 20
画像ファイルをパソコンに保存する／削除する 22
パソコンと接続して使う 24
ネットワークと接続して使う 26
読み取り画像をボード本体／FTP サーバーに保存する 26
画像ファイルをパソコンに転送する／削除する 28
保存先を［ボード本体］に設定している場合 28
ボード本体の画像ファイルを削除する 30
保存先を［FTP サーバー］に設定している場合 .. 31
FTP サーバ内の画像ファイルを削除する 32
本体機器設定とネットワーク設定のしかた ... 33
本体機器設定（本体ボタン操作） 33
基本の設定操作 33
機能番号と設定内容一覧 34
ネットワーク簡易設定（USB 経由）のしかた ... 36
詳細設定（LAN 経由）のしかた 38
基本の設定操作 38
本体機器設定 41
ヘッダー／フッター 42
ネットワーク設定 43
ユーザー設定 44
セキュリティ設定 45
ディスク管理 46
機器情報一覧 46
ネットワーク設定のリセット 47
ヘッダー／フッターの作成と登録のしかた 48
エラー表示の情報内容 49
故障と思われる前にもう一度ご確認ください 51
仕様 53
付録 54
接続配線図 54
アフターサービス 55

本書で使われている用語の意味

- 本機（または本体）……コピーボードを指します。
- USB メモリ ……USB フラッシュメモリを指します。
- USB メモリ保存 ……操作パネルの USB メモリ（USB ポート）を使って板書データを保存することを言います。
- PC 保存用メモリ……読み取り画像の一時保存場所を指します。
- コピー ……印刷と USB メモリ保存の両方を言う場合は“コピー”と言います。
- シート面 ……描画する部分を“シート面”と呼びます。板面と記載する場合もあります。
- “スクロール”または“移動”… シートの送りを指します。
- ネットワーク保存用メモリ ……ネットワーク保存用のメモリとして使用します。
- ネットワーク ……網の目のように互いに接続されている機器間を通信（データをやり取りする）する通信網のことです。本機でのネットワークは下記の LAN のことを指します。
- LAN（Local Area Network）…社内など限定された範囲内で通信する構内通信網のことです。
- FTP(File Transfer Protocol)……TCP/IP ネットワークでファイルを転送するときに使用されるプロトコル（通信規約）のことです。

安全上のご注意《必ずお守りください》

ご使用の前に

絵表示について

この「取扱説明書」と「設置・組立説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示の意味		表示例	
△	この記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。		感電注意
⃠	この記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。		分解禁止
●	この記号は行為を規制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。		電源プラグをコンセントから抜く

※プリンタの安全上のご注意につきましてはプリンタの説明書をご覧ください。

⚠ 警告

分解禁止

内部を開けない・分解しない

サービスマン以外の方は本体の裏板を開けないでください。内部の点検・調整・修理・清掃はお買い上げの販売店または弊社「お問い合わせセンター」にご依頼ください。

水ぬれ禁止

本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器を置かないでください。水がこぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

水場や水にぬれるような所には置かない

水が入ったり、ぬれたりすると、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用や、屋外での使用はさけてください。

故障したままの使用はしない

万一、煙が出ている・変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

すぐに本機の電源を切り、そのあと必ず AC 電源アダプタのプラグをコンセントから抜いてください。

煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げの販売店または弊社「お問い合わせセンター」に修理を依頼してください。

お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

表示以外の電圧で使用しない

AC100V 以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠ 警告

組立施工業者以外は設置しない

設置の不具合により、落下してけがの原因になります。

壁面取り付けは工事が必要です。

壁面に取り付ける場合は本体および取り付け金具の総重量に長期間十分に耐えうる（また、地震にも耐える）壁面強度が確保されているかをお確かめください。強度が不足している場合は、補強してください。
（施工に関しては弊社販売店にお問い合わせください。）

AC 電源アダプタの取り扱い

- 指定以外の AC 電源アダプタを本機に接続しないでください。指定以外の AC 電源アダプタを使用すると、火災･事故の原因となります。
- 表示以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- AC 電源アダプタをぬらさないでください。火災・感電の原因となります。
- AC 電源アダプタに衝撃を与えないでください。火災・感電の原因となります。

AC 電源アダプタやテーブルタップのコードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 設置時に、製品と壁やラック（棚）などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったリしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 極端に折り曲げない
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
  万一、電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店または弊社「お問い合わせセンター」に交換をご依頼ください。

AC 電源アダプタやテーブルタップのコード・プラグについて

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。接続したまま移動させるとコードに傷が付き、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。
- 電源プラグの端子および端子の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのままで使用すると火災・感電の原因となります。

AC アダプタボックスとテーブルタップの取り扱い

- テーブルタップ（オプションスタンドに同梱）は本機の AC 電源プラグとプリンタの AC 電源プラグ専用コンセントです。
- AC 電源アダプタを収納するために本機にはアダプタホルダー（同梱）、AC アダプタボックス（別売）を用意しています。
  AC 電源アダプタや電源コードおよびテーブルタップは熱を発生しますので適度の間隔をあけて配置し、ケーブルは束ねないでください。発熱して火災の原因になります。
- プリンタ台の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器を置かないでください。水がこぼれて AC アダプタボックスの中に入った場合、火災・感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

雷が鳴りだしたら、電源プラグには触れないでください。感電の原因になります。

⚠ 注意

乗ったり、重いものを置いたりしない
本機に乗らないでください。特に、小さなお子様のいる場所ではご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。
本機の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

ぶらさがらない
本機にぶらさがったり、寄りかかったりしないでください。たおれた場合に思わぬ怪我の原因となります。

不安定な場所に設置しない
ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となります。

1 人で本体を持ち上げない
本機の設置などで本体を持ち上げる場合は、2 人以上で持ち上げてください。倒れたりしてけがの原因となります。

スタンドの取り扱い（スタンドタイプの製品）
転倒防止のために次のことをご注意ください。
けがや故障の原因となります。
- 平面の床で使用してください。
- 設置して使用する場合はキャスターをロックしてください。また、移動するときはキャスターロックを解除して、本体の左右を支えて静かに行い、衝撃はさけてください。
- 本機の高さ調整等で本体を持ち上げる場合は、2 人以上で持ち上げてください。倒れたりしてけがの原因となります。
- 本機にもたれかかる、上部に不要な力を加えることの無いようにしてください。
- スタンドテーブルにプリンタを据え付ける場合、スタンドを移動するときはプリンタを取り外してください。スタンドを移動する際にプリンタが落下して損傷やけがの原因となります。

使わないときはプラグを抜く
長期間使用しないときは、AC アダプタボックスの電源プラグをコンセントから抜いてください。漏電により火災の原因になることがあります。

シートの反射光について
- シート面はプロジェクタのスクリーンとしては使用しないでください。プロジェクタの反射光により目の疲れなどの症状を発生することがあります。
- レーザーポインタのシート面（スクリーン面は除く）への照射は、思わぬ事故の発生につながる恐れがありますので、ご使用をお控えください。

設置場所について
- 直射日光が当たるような暑いところ、また、エアコンの風が直接当るところには、置かないでください。
- 油煙や湿気の当たるような場所（調理台や加湿器のそば等）に置かないでください。
- 壁面の電源コンセントの近くに本機を設置してください。
- 電源プラグをコンセントから抜く場合、容易に手が届くように本機を設置してください。

お願い

罫引きテープ類は使用しない
テープ等を貼ったままシートを移動させることはおやめください。故障の原因となります。

シートに用紙などを貼り付けない
シートにフィルム状のものや用紙を 貼り付けてコピーすることはおやめください。故障の原因となります。

シートの表面を傷つけない
シートの表面を鋭利なもの、硬いものでたたいたり、突き刺したりしないでください。

継ぎ目を汚さない
シートの継ぎ目は汚さない様に注意してください。まれに、コピーされる場合があります。

シートは薬品で拭かない
本体およびシートを、シンナー、ベンジン、アルコール等で拭かないでください。変色したり、シートを傷めることがあります。

専用マーカーを使用する

必ず専用のマーカーとイレーサーを使用してください。その他のマーカーやイレーサーを使用したり、直接手でこすったりするとシートを傷つけたり、シートが汚れインクが消えなくなることがあります。
マーカーは必ず、横向きにして保管してください。消えにくくなる場合があります。

シートに記入した文字を長時間放置しないで

消えにくくなることがあります。

読み取り許容範囲内に記入する

この範囲以外に描いた部分は、印刷、メモリやパソコン保存時にコピーできないことがあります。

シートの移動について

- 急な移動は本機の駆動部分を損傷させる原因となります。ゆっくり動かしてください。
- 付箋紙をシートに貼ったまま、移動させないでください。故障の原因となります。

USB ケーブルについて

本機付属以外の USB ケーブルを使用する場合は、USB-IF のロゴ認定された USB シールドケーブルを使用してください。本機を USB ハブに接続して使用することはおやめください。正常に動作しない恐れがあります。

USB メモリについて

- 本機がサポートする USB メモリのフォーマットは FAT, FAT 32 です。本機で使用できない USB メモリもありますので、あらかじめご了承ください。
- USB メモリに保存したデータは万一の故障や消失に備えて、他の媒体に定期的に保存することをお勧めします。
- 本機の保存用メモリ（読み取り画像）や USB メモリに保存した内容の損害については当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

プリンタについて

本機のプリンタには、弊社が指定するプリンタ機種のみ接続できます。
指定機種以外のプリンタを接続した場合は、動作保証いたしかねますので、接続しないでください。
詳しくは、お買い上げの販売店または弊社「お問い合わせセンター」までお問い合わせください。

ネットワークについて

ネットワーク接続環境について

- 動作環境は、予告なく変更される場合があります。また、すべての動作を保証するものではありません。
- 動作環境にすべて合致していても正常に動作しない場合や、何らかの不具合が発生することがあります。
  通信状態によっては、表示の遅延や、通信にエラーが発生する場合があります。

免責事項

- ネットワーク機能によって接続した機器に通信障害の不具合が生じた場合の結果ついて当社は一切責任を負いません。
- ネットワーク機能の使用または使用不能から生ずる付随した障害（営業利益の損失、事業の中断等による損失など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 接続した機器および使用されるソフトウェアとの組み合わせによる誤動作や、ハングアップなどから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

お手入れについて

いつまでも鮮明なコピーをおとりいただくために、以下のお手入れを定期的に行ってください。

シートの清掃

シートが汚れたときは、よく絞った布で水拭きしてください。また、シート面が乾かないうちにきれいな乾いた柔らかい布で仕上げ拭きをしてください。清掃後シートが完全に乾いてからお使いください。
汚れのひどいイレーサーや、ウェットティッシュ、OA クリーナー、中性洗剤等は使用しないでください。

ペントレイ、フレームカバーの清掃

ペントレイやフレームカバーについたマーカーによる汚れは、よくしぼった布で水拭きにしてください。
プリンタの清掃はプリンタの取扱説明書をご覧ください。

イレーサーのお手入れ

イレーサーの消去面が汚れたら、たたいて洗ってください（こすり洗いはしないでください）。また、よく乾燥させてからご使用ください。
イレーサーを汚れたまま使用しますとシート面が汚くなり、シートの汚れが取りにくくなります。

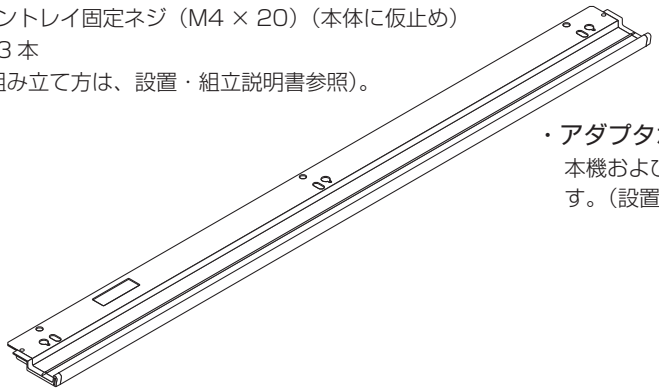
製品の梱包内容

梱包内容は次の通りです。ご使用前に確認してください。

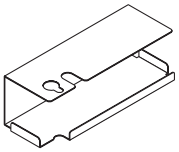
本体……1 台

■設置・組立部品

・ペントレイ（1 個）
ペントレイ固定ネジ（M4 × 20）（本体に仮止め）
：3 本
（組み立て方は、設置・組立説明書参照）。

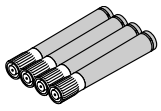


・アダプタホルダー（1 個）
本機およびプリンタの AC 電源アダプタの収納ができます。（設置・組立説明書参照）。

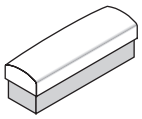


■本体付属品

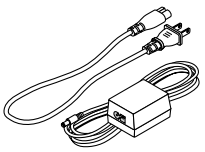
・専用マーカー（黒・赤・青・緑各 1 本）
この専用マーカーでシート面に描画します。



・専用イレーサー…1 個
描画を消すときに使います。



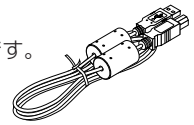
・AC 電源アダプタ
（電源コード付き）…1 個
[LTE36E-S2-3]
本機に電源を供給するための電源アダプタです。
（54 ページ参照）



ご注意

付属の AC 電源アダプタ、AC 電源コードは本製品専用です。決して他の製品には使用しないでください。

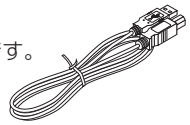
・USB ケーブル（3m）（タイプ A ←→タイプ B）
… 1 本
[弊社コード 715258900]
本体とパソコンをつなぐケーブルです。
機器設定時に使います。



ご注意

プリンタには接続しないでください。

・USB ケーブル（1.8m）
（プリンタ接続専用：タイプ A ←→タイプ B）
… 1 本
[弊社コード 726591200]
本体とプリンタをつなぐケーブルです。



書　類

・取扱説明書（本書）
安全に本機を使用するために守っていただきたいことと本機の使いかたが書かれています。

・設置・組立説明書（1 枚）
本機の設置方法、プリンタとの接続が書かれています。

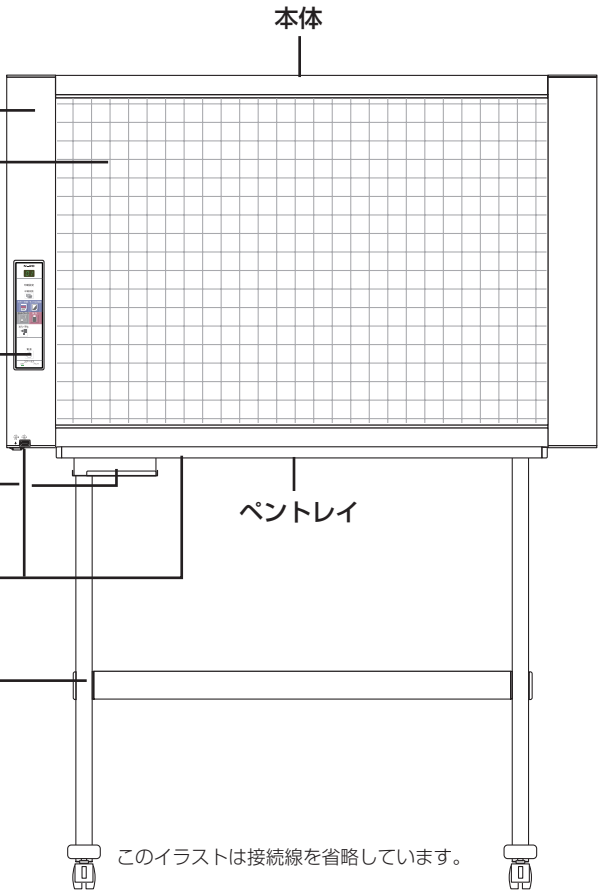
・保証書（1 枚）

・FAX 登録用紙（1 枚）

・テスト印刷用紙（5 枚）

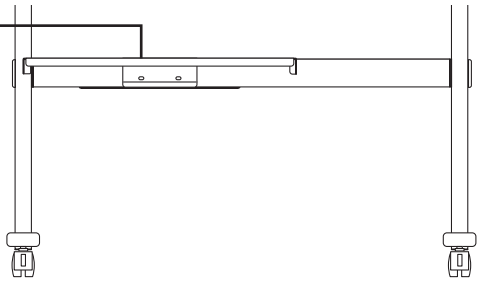
各部の名称

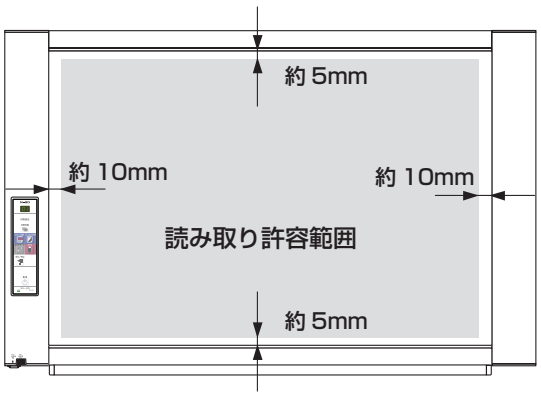
本体前面



●プリンタテーブル付きのスタンドセットの場合（別売）

プリンタテーブル（AC アダプタボックス付き）
プリンタ専用置台です。
AC アダプタボックスに本機の AC 電源アダプタ、プリンタの AC 電源アダプタの収納ができます（スタンド組立説明書参照）。



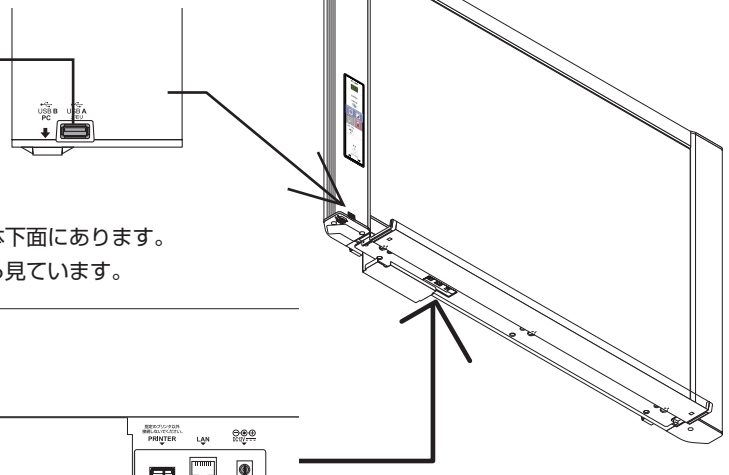


読み取り許容範囲について
コピー可能な部分は、図のグレーで表示されている部分です。

お知らせ

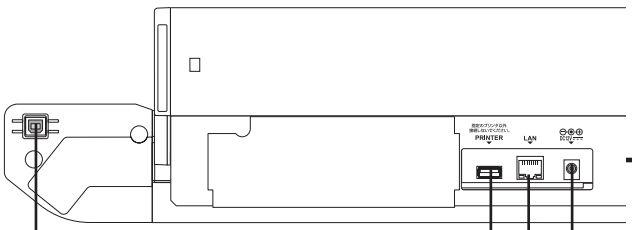
- この範囲以外に描いた部分は、印刷や保存時にコピーできないことがあります。

入出力端子部



USB メモリ専用ポート（タイプ A）
市販の USB メモリを差し込みます。
読み取り画像の保存ができます。
（20 ページ参照）

端子は本体下面にあります。
図は下から見ています。



このイラストはプリンタおよび接続線を省略しています。

DC 入力端子
AC 電源アダプタの DC プラグを接続します（54 ページ参照）。（付属の AC 電源アダプタ以外は接続しないでください。）

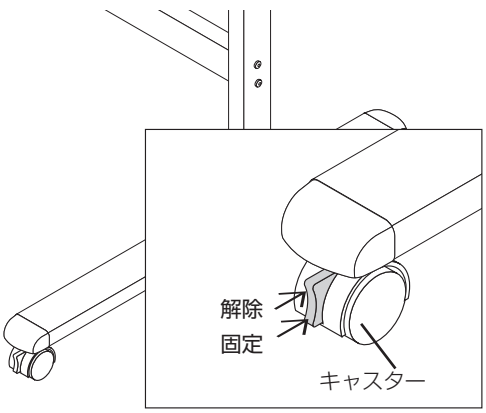
PC 専用 USB ポート（タイプ B）
パソコンの USB ポート（タイプ A）と接続します。
パソコンと接続して本機の機器設定をする場合に使います。読み取り画像をパソコンにコピーすることもできます。（24, 36 ページ参照）

LAN 端子（RJ-45）
ネットワーク（スイッチングハブなど）の LAN ポートに市販の LAN ケーブルを接続します。

プリンタ専用 USB ポート（USB ポート タイプ A）
プリンタの USB 端子と接続します（54 ページ参照）。
（プリンタ接続専用端子です。プリンタ以外は接続しないでください。）

スタンドのキャスターロック／解除のしかた

設置後はストッパーでキャスターを固定してください。また、移動時にはキャスターのストッパーを解除してください。
ストッパーの下を押すと固定されます。上を押すと解除されます。



スタンド（別売）の高さ変更のしかた

別売のスタンドに設置しているときの高さ調整です。250mm 単位で 2 段階の調整ができます。

⚠注意

- 本体は 2 人以上で持ってください。落下や転倒して思わぬけがの原因となります。
- スタンドのキャスターロックボタンの下側を押してキャスターを固定してください。取り外し、取り付け時にスタンドが動いて思わぬけがの原因となります。
- 電源プラグを壁面の電源コンセントから抜いて、本体の入出力端子の接続線を全て外してください。接続したまま本体を取り外すと、スタンドが転倒して思わぬけがの原因となります。
- 本体にプリンタを設置している場合はプリンタを取り外してから行ってください。取り外し、取り付け時にスタンドが傾いて落下や転倒して思わぬけがの原因となります。

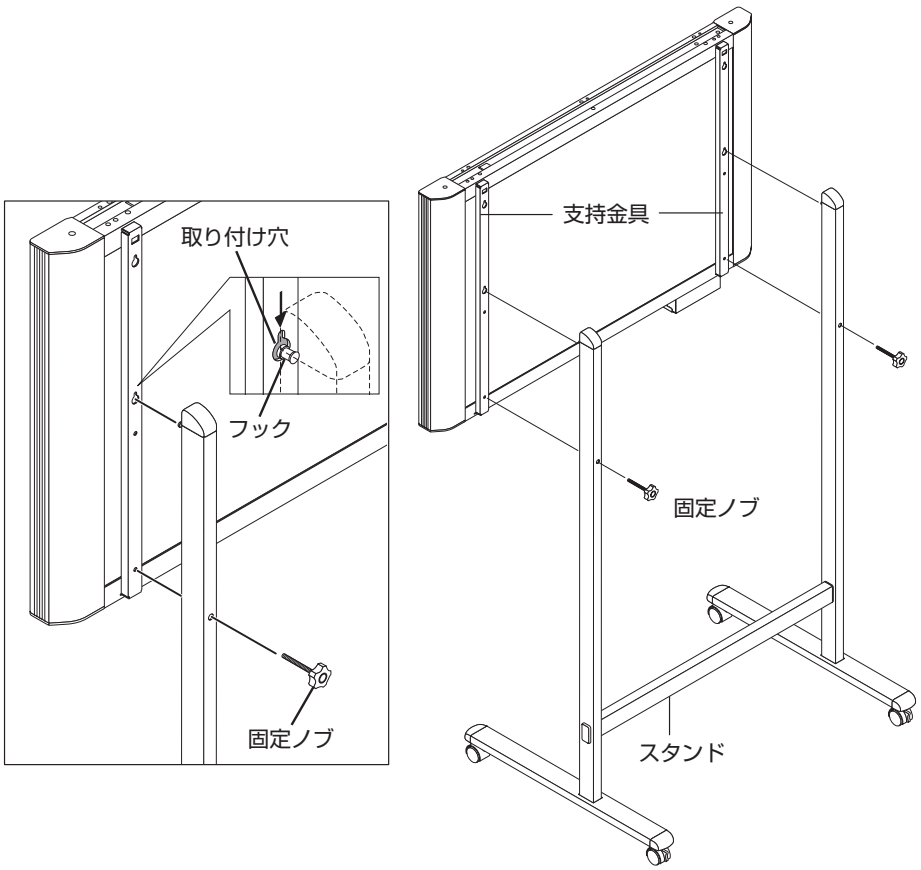
（1） 電源プラグを壁面の電源コンセントから抜き、本体に接続している接続線を全て外します。

（2） 固定ノブ（左右 2 箇所）を外します。

（3） 本体の支持金具の穴位置を入れ替えます。
本体を約 1cm 持ち上げるとフックから外れます。
スタンドのフックに本体の支持金具の取り付け穴（左右 2 箇所）を完全に引っかけます。

（4） 左右 2 箇所に固定ノブを取り付け支持金具に締めつけます。

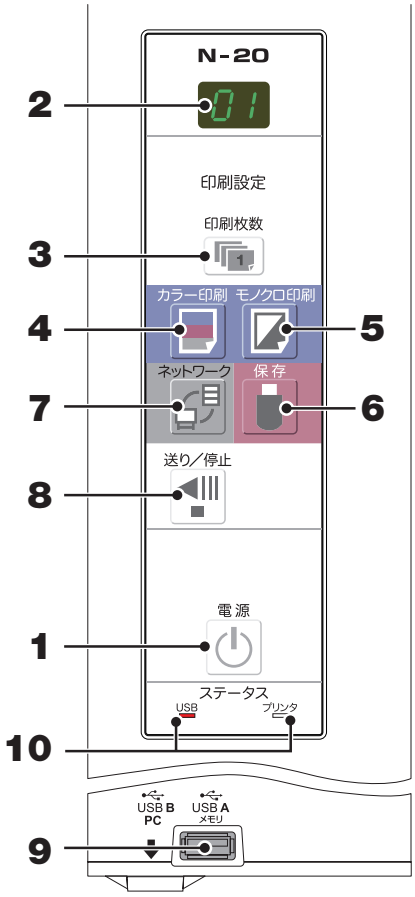
（5） 各接続線を接続します。



※図は接続線を略しています。

本体操作パネル

ボタンを押すときは、中央付近（四角い凸部分）を押してください。隅を押すと動作しない場合があります。



1 電源ボタン
本機の電源を入／切（スタンバイ状態）します。

2 表示窓
印刷枚数や動作状態とエラー情報を 7 セグメント LED で知らせます。

3 印刷枚数ボタン／テスト印字
ボタンを押し印刷枚数を設定（最大 10 枚）します。
印刷枚数は表示窓に表示します。
※ “ P” の表示はテスト印刷時に表示させます。

4 カラー印刷ボタン
シートを 1 面分移動させて読み取り、表示窓に表示している枚数をカラーで印刷します。

5 モノクロ印刷ボタン
シートを 1 面分移動させて読み取り、表示窓に表示している枚数をモノクロで印刷します。

6 保存ボタン（USB メモリ保存）
シートを 1 面分移動させて読み取り、USB メモリへ保存します。
パソコンと USB ケーブルで接続しているときは PC 保存用メモリへ保存します。

7 ネットワークボタン
シートを 1 面分移動させて読み取り、保存先へ保存します。
保存先はあらかじめ設定しているボード本体または FTP サーバー内です。

8 送り／停止ボタン
シートを 1 面分左にスクロールして自動停止します。スクロール中に押すとスクロールが停止します。

9 USB メモリ専用ポート（USB ポート タイプ A）
市販の USB メモリに本機の読み取り画像を保存します。

10 ステータス
ランプの点灯／消灯で本体、USB メモリ、ネットワークまたはプリンタがエラーであることをお知らせします（下表参照）。正常に機能している場合、ステータスのランプは、緑点灯になります。
表示窓のエラー表示と合わせて確認してください。
エラー情報と対処方法は 49 ページをご覧ください。

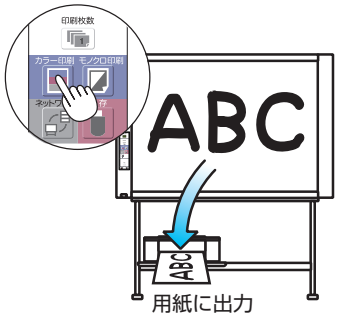
表示窓	内　容	USB ランプ表示	プリンタ ランプ表示
E1	プリンタ異常	消灯	赤点灯
EL	対応外プリンタ		
E2	USB メモリ未認識	赤点灯	消灯
E3	USB メモリ保存異常		
US	USB メモリ未装着		
FL	メモリフル		
USb※	USB メモリ抜き忘れ		
E4	読み取り異常	赤点滅	赤点滅
ES	システム異常		
EH	時刻設定異常		
E8	セキュリティ保護	消灯	消灯
E9	カラー印刷禁止		
L1	LAN ケーブル未接続		
L2	FTP サーバー認証エラー		
L3	FTP サーバー接続失敗		
L4	FTP サーバー書き込み失敗		
LS	ネットワークその他のエラー		
LE	ネットワーク設定リセットエラー		
HE	ヘッダー／フッター書き込みエラー		

※ USb 文字が流れて表示します。

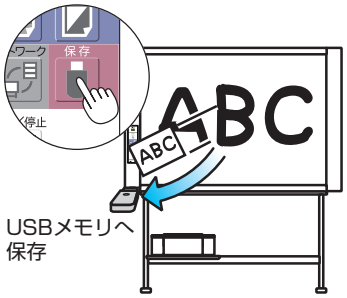
本機の機能

基本機能

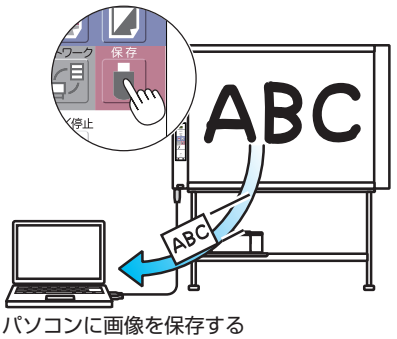
① 印刷する



② USB メモリに保存する

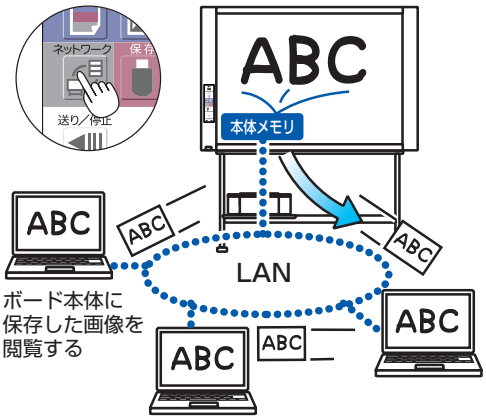


③ パソコンに画像を取り込む

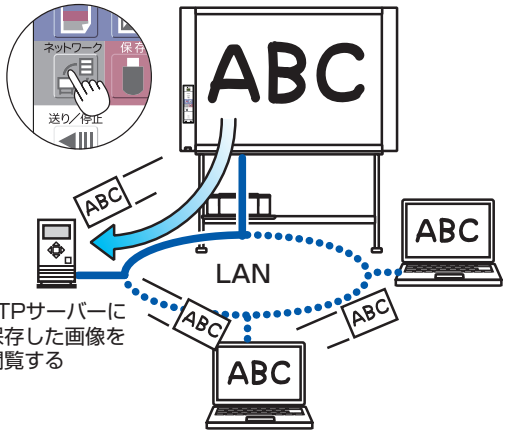


ネットワーク機能

④ 本体に保存した画像をネットワーク経由で閲覧する

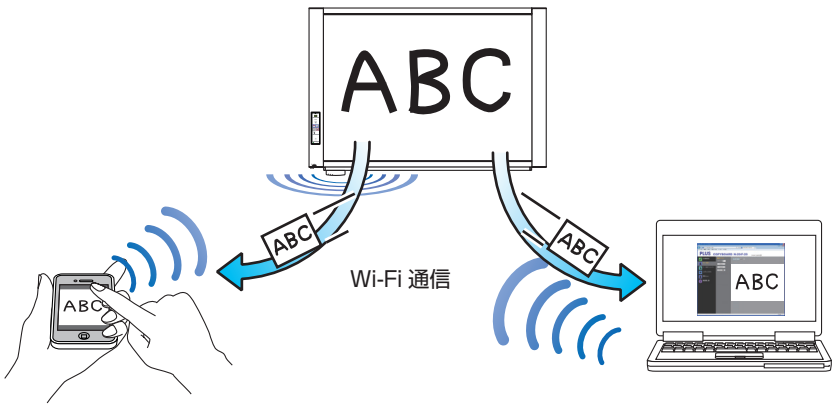


⑤ FTP サーバーに保存した画像をネットワーク経由で閲覧する



ネットワークリモート操作機能

スマートフォンやパソコンからコピーボードをリモート操作して、スマートフォンやパソコンに無線で板書画像を保存することができます。
詳細はネットワークリモート操作、設定ガイドを参照してください。



使いかたの順序

本機は、専用マーカー（4 色）で描いた図形や文字をイメージセンサーで読み取り、カラー印刷 ボタン / モノクロ印刷 ボタンを押した場合はシート面のイメージが、プリンタからプリントアウトされ、USB メモリまたはパソコンを接続した場合は、保存 ボタンを押すことにより、画像データとして保存します。（PC 保存用メモリには 1 面分上書き保存されます。）
また、ネットワークの設定を行うことにより、ボード本体 /FTP サーバーに画像ファイルを保存することができます。

準備

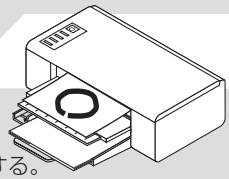
※ **お買い求めの際は、本機を設置してください。**
別紙の「設置・組立説明書」をご覧ください。

※ **電源プラグを壁面の電源コンセントに接続してください。**

※ **お買い求めの際は、本機の時計を必ず合わせてください。印刷や画像ファイルに正しい日時の表示ができなくなります。15 ページ参照**

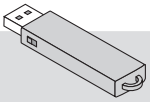
シート面に描画する

付属の専用マーカーで描いてください。消すには付属の専用イレーサーで消します。
専用マーカー･専用イレーサー以外のものを使った場合、消えなくなったりシートを汚損する恐れがあります。
手でシートを移動させる場合は、19 ページの「手動でシート面を移動させる」をご覧ください。



印刷をする場合

（**1**）A4/ レター用紙をセットする。
A4/ レター用紙以外はセットしないでください。
（**2**）本機の電源 ボタンを押して電源を入れる。
（**3**）プリンタの電源を入れる。
操作方法に関しては、お使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。
（**4**）カラー印刷 またはモノクロ印刷 ボタンを押します。シートを 1 面分移動させ、読み取りコピー動作を開始します※。「印刷のしかた」17 ページ参照



USB メモリへ保存する場合

（**1**）本機の電源 ボタンを押して電源を入れる。
（**2**）本機の USB メモリポートに USB メモリを差し込みます。
（**3**）保存 ボタンを押します。
「USB メモリを使う」20 ページ参照

パソコンへ保存する場合（USB 経由）

（**1**）本機の電源 ボタンを押して電源を入れる。
（**2**）本機の PC 専用 USB ポートとパソコンを接続する。
（**3**）保存 ボタンを押します。
（**4**）PC 保存用メモリの画像ファイルをパソコンに転送します。

ネットワークを利用する場合（LAN 経由）

（**1**）本機がネットワークの LAN ポートに接続されていることを確認する。
（**2**）本機の電源 ボタンを押して電源を入れる。
（**3**）ネットワークボタンを押す。
「ネットワークと接続して使う」26 ページ参照

使わないとき

（**1**）描画したシート面は専用イレーサーできれいに消しておきましょう（長時間の放置は消えにくくなります。）
（**2**）本機の電源 ボタンを押して電源を切る（スタンバイ状態）
USB メモリを装着したまま電源を切ることはできません（USB メモリ抜き忘れ防止機能）。
（**3**）プリンタの電源を切る

お知らせ

- 電源を入れる際は、電源プラグを接続した後、約 5 秒以上待ってから電源 ボタンを押してください。
- カラーで印刷または保存した場合の画像の色は、実際のマーカー色とは異なる場合があります。
- 文字のかすれや薄い線、マーカーの重なりなどにより、部分的に色が異なったり読み取りできない場合があります。また、黒の色混ざり（カラー印刷時）や誤線読みを発生することがあります。
- PC 保存用メモリのデータは電源 ボタンで電源を切る（スタンバイ状態）または、パソコンと切断すると消去されます。なお、ネットワーク保存用メモリに保存されているデータは消去されません。

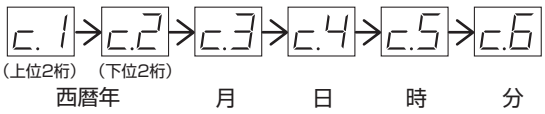
時刻設定のしかた

印刷用紙への日付 / 時刻の印字や、ボード本体／ FTP サーバー保存時のファイル情報に日付 / 時刻を記録しますので本機の時計を正しく合わせてください。
時刻設定はパソコンからネットワーク経由（LAN 接続時）で設定することもできます。（41 ページ参照）

操作の概要

1 **「本体機器設定」に切り替える**
電源 ⏻ ボタンを押したまま印刷枚数 ボタンを押してから、電源 ⏻ ボタンを離します。

2 **保存 ボタンを押して「時刻設定」に切り替える**
保存 ボタンを押すごとに切り替わります。
表示窓に表示される設定モードの内容



3 **設定モードの年月日および時分を合せる**
カラー印刷 またはモノクロ印刷 ボタンを 1 度押すと設定ができるようになります。
カラー印刷 （増加）またはモノクロ印刷 （減少）ボタンを押して合せます。

4 **保存 ボタンを押して決定する**
次の設定モードに移ります。
4,5 の操作をして現在の日時に合せます。
※操作 3 ～ 5 のとき電源 ⏻ ボタンを押すと途中の設定は解除されて設定前の日時に戻ります。

5 **終了する**
分の設定モード（c.6 表示）を設定したあと、保存 ボタンを押すと「時刻設定」は終了し、［F1］表示（本体機器設定）に戻ります。電源 ⏻ ボタンを押すと通常モードに戻ります。

準備：電源プラグを壁面の電源コンセント（AC 100V）へ接続してください。
［例］2012 年 10 月 8 日午後 2 時 16 分（2012.10.08 14：16）に合わせます。

1 **電源 ⏻ ボタンを押して電源を入れる**
表示窓の LED が点灯し電源が入ります。

通常モード

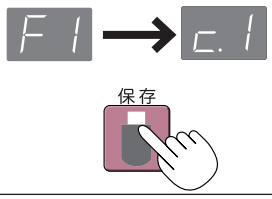
2 **電源 ⏻ ボタンを押したまま印刷枚数 ボタンを押してから、電源 ⏻ ボタンを離します。**
本体機器設定に切り替わり、表示窓の LED が“F1”を表示します。
10 秒間ボタン操作をしないと通常モードに戻ります。

本体機器設定モード

次ページに続く

3 “F 1” 表示中に保存 ボタンを押して決定する

“c.1” 点灯表示（西暦上位 2 桁設定）に変わります。
時刻設定のとき 10 秒間ボタン操作をしないと本体機器設定に戻ります。



4 保存 ボタンを押して、西暦下位に移動する

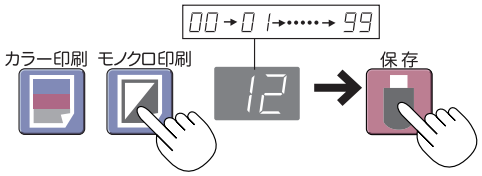
“c.2” 点灯表示（西暦下位 2 桁設定）に変わります。

お知らせ

西暦の上位 2 桁（20）は固定されています。このまま保存 ボタンを押すと“西暦下位 2 桁”設定モードに移ります。

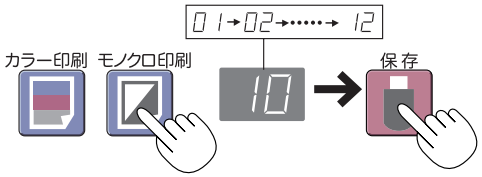
5 カラー印刷（増加）またはモノクロ印刷（減少）ボタンを押して（西暦下位 2 桁）12（年）を選択し、保存 ボタンを押して決定する

“c.3” 点灯表示（月の設定）に変わります。



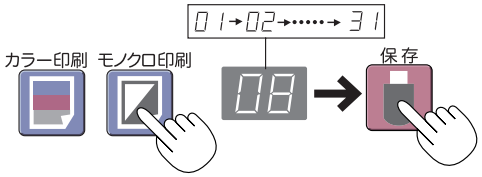
6 カラー印刷（増加）またはモノクロ印刷（減少）ボタンを押して 10（月）を選択し、保存 ボタンを押して決定する

“c.4” 点灯表示（日の設定）に変わります。



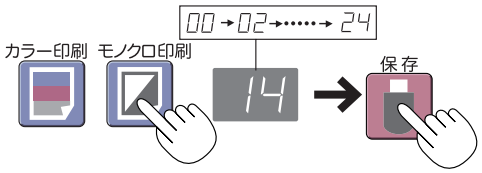
7 カラー印刷（増加）またはモノクロ印刷（減少）ボタンを押して 08（日）を選択し、保存 ボタンを押して決定する

“c.5” 点灯表示（時の設定）に変わります。



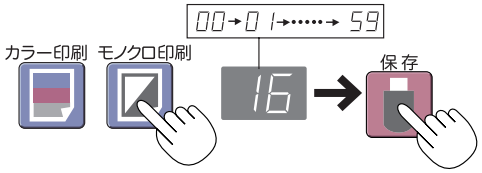
8 カラー印刷（増加）またはモノクロ印刷（減少）ボタンを押して 14（時）を選択し、保存 ボタンを押して決定する

“c.6” 点灯表示（分の設定）に変わります。



9 カラー印刷（増加）またはモノクロ印刷（減少）ボタンを押して 16（分）を選択し、保存 ボタンを押して決定する

“F 1” 表示（機能設定）に戻ります。



10 電源 ボタンを押して、通常モードに戻します。

・このまま 10 秒間待っても通常モードに戻ります。

これで時刻設定が終わりました。

印刷のしかた（プリンタ別売）

シート面に描画した内容を印刷する場合にはプリンタ（別売）を使います。プリンタによって操作が異なったり、各部分の名称が異なります。詳しい使いかたはお使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。

プリンタの準備

本機とプリンタが接続されていることをご確認ください。54 ページ参照

1 用紙をセットする

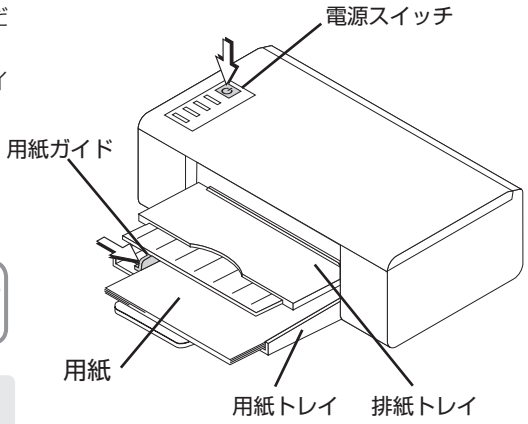
用紙はプリンタ専用の A4 またはレターサイズをご使用ください。

・ レターサイズを使用するときは本体機器設定でレターサイズを設定してください。（34, 41 ページ参照）

1）用紙の上下左右をそろえます。
2）用紙を用紙トレイの指定された位置に差し込みます。
3）用紙ガイドを用紙に軽くあたるまで押します。

お知らせ　ご使用になる用紙に関してはプリンタの取扱説明書をご覧ください。

ご注意　プリンタの仕様によっては、プリントヘッドのクリーニングに時間がかかることもあります。



※図のプリンタはイメージイラストです。

2 電源を入れる

電源スイッチを押します。電源ランプが点灯します。

これでプリンタの準備ができました

本機操作パネルのカラー印刷 ■ またはモノクロ印刷 ◪ ボタンを押すとシート 1 面分の読み取りをし、印刷動作を開始します。

ご注意　プリンタによっては、電源投入後、印刷準備ができるまでの間、表示ランプなどが点滅している場合があります。この場合は、プリンタの取扱説明書をご覧になり、準備ができたことを確認してから、本機での印刷操作を始めてください。

3 使い終わったときは

プリンタの電源を切り、用紙を取り出してください。

ご注意　**印刷中は電源を切ったり、USB ケーブルを抜かないでください。**

基本の印刷操作

準備： 電源プラグが壁面の電源コンセントに接続しているか確認してください。

1 電源 ⏻ ボタンを押して電源を入れる

プリンタの準備をしてください（前ページ参照）。

お知らせ

- 電源を入れる際は、電源プラグを接続した後、約 5 秒以上待ってから電源 ⏻ ボタンを押してください。
- 電源 ⏻ ボタンを押して電源を入れると、表示窓の LED が点灯します。
- 本機の電源を入れてからプリンタの電源を入れてください。

2 送り / 停止 ◀||| ボタンを押して印刷したい面を出す

送り / 停止 ◀||| ボタンを押すとシート面を 1 面分左にスクロールして自動停止します。
途中で停止するにはもう一度 送り / 停止 ◀||| ボタンを押します。

お知らせ

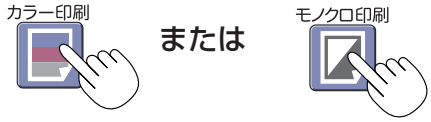
- 次のシート面を出すときはスクロールが停止してから送り / 停止ボタンを押してください。スクロール中に押すと直ちに停止します。再び押すと停止位置から 1 面分のシート送りになります。
- 見えている 1 面分が印刷されます。
- シート面を微調整するにはシートが止まっているときに手でゆっくりと移動させてください。左右どちらでも移動できます。
- シート面の周囲は印刷できないことがあります。9 ページ「読み取り許容範囲について」をご覧ください。

3 印刷枚数 ⧉ ボタンを押して印刷する枚数を選択する

お知らせ

- 電源を入れたときは 1 枚が選択されています。
- 最大 10 枚まで設定でき枚数は表示窓に表示します。
- 印刷枚数ボタンを押すごとに印刷枚数が増え、10 枚の次は「 P」を表示します（テスト印刷に使います：52 ページ参照）。さらに押すと 1 枚に変わります。押し続けると連続して切り替わります。
- 印刷枚数を設定した場合は 1 分以内に 4 の手順に移ってください。1 分間操作をしないと印刷枚数は 1 枚に戻ります。

4 カラー印刷 ■ またはモノクロ印刷 ◪ ボタンを押して印刷をする



1 面分の読み取り動作（スクロール）をし、印刷動作を行います。

印刷動作を途中で中止する

電源 ⏻ ボタンを押すと読み取り動作中のシートが停止し、読み取った途中までの画像データを印刷します。プリンタから用紙が排紙されるまでお待ちください。

お知らせ

- 読み取り動作中に電源 ⏻ ボタンを押した場合、印刷が中断され途中までの印刷になります。
- 1 面分を A4 用紙サイズに縮小して印刷されます。
- 表示窓に“E1”が点滅表示されている場合は印刷エラーです。49 ページ「エラー表示の情報内容」をご覧ください。
- 印刷すると用紙の右上にタイムスタンプ（日付と時刻）が印刷されます。35, 41 ページ「本体機器設定」をご覧ください。

5 本機を使わないときは電源 ⏻ ボタンを押して電源を切る（スタンバイ状態）

- 電源が切れると PC 保存用メモリの読み取り画像は消去されます。
- プリンタの電源も切ってください。

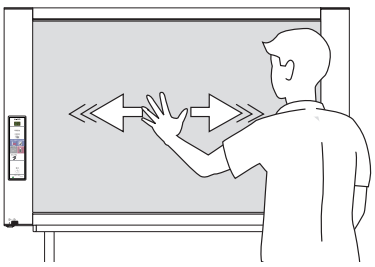
お知らせ

- **消し忘れ防止機能を「あり」に設定している場合**
  電源 ⏻ ボタンを押すと、表示窓とステータス表示ランプが同時に点滅し、未消去面まで自動的に移動してから、電源が切れます。設定を「なし」に変更するには 35,41 ページ参照
  ※ シート溶着部の汚れ、マーカーの消し残しによっては、正しく消し忘れ防止機能が動作しない場合があります。

- ボタン操作を 30 分以上行わなかった場合、自動的に電源が切れます（オートパワーオフ）。
- 本機とパソコンを USB ケーブルで接続しているときは、オートパワーオフ機能は解除されています。

手動でシート面を移動させる

本機の電源が切れていても移動させることができます。
手のひらでシートを移動させます。右左どちらでも移動できますが、上下方向の中央に手を当てて静かに移動させてください。



ご注意

- **急な移動は本機の駆動部分を損傷させる原因となります。**
- **シート面を移動させるとシートの一部にローラー跡が付く場合があります。**

お知らせ

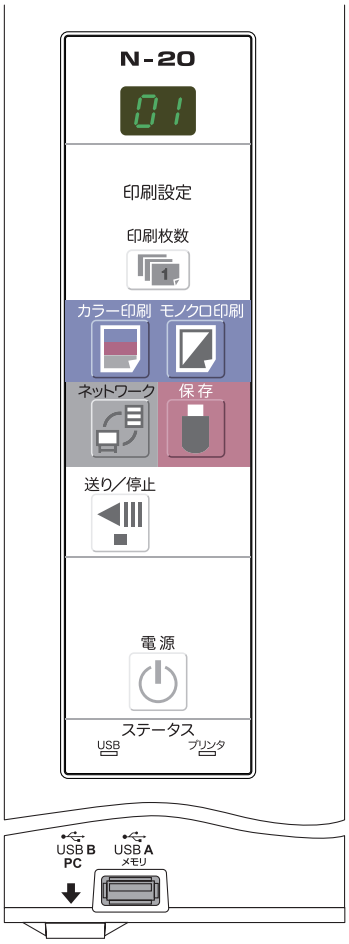
消し忘れ防止機能を「あり」にしている場合は、手でシート面を移動させると、消し忘れ防止機能が正しく動作しない場合があります。

USB メモリを使う

本機のシート面に描画した内容を USB メモリに保存することができます。保存された画像は後でパソコンに取り込み会議録作成の資料にしたり、ドキュメントに貼り付けて使用することができます。

ご注意

- USB フラッシュメモリは付属しておりません。市販品をお求めの際は、次の点にご注意ください。
  1. FAT16/FAT32 形式でフォーマットされた USB フラッシュメモリに対応しています。NTFS フォーマットの USB フラッシュメモリはご使用いただけません。
  2. セキュリティ機能により保護されている USB フラッシュメモリはご使用いただけません。
  3. 複数のドライブおよびパーティションを持っている USB メモリはご使用いただけません。



USB メモリに保存する

準備： 電源プラグが壁面の電源コンセントに接続しているか確認してください。

1 電源 ⏻ ボタンを押して電源を入れる

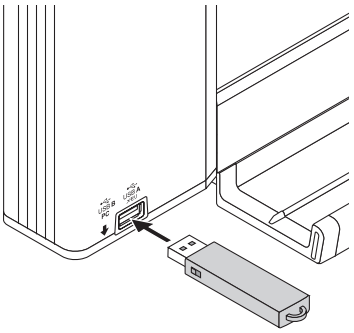
お知らせ

- 電源を入れる際は、電源プラグを接続した後、約 5 秒以上待ってから電源 ⏻ ボタンを押してください。
- 電源 ⏻ ボタンを押して電源を入れると、表示窓の LED が点灯します。

2 USB メモリを本機の USB メモリポートに差し込む

ご注意

- USB メモリの向きを確認してから差し込んでください。逆向きで無理に差し込むと、USB ポートや USB メモリを破損する恐れがあります。
- USB メモリを取り付けている場合は、USB メモリに手や身体をぶつけないようにご注意ください。USB メモリや USB ポートが破損する恐れがあります。



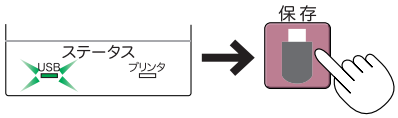
3 送り / 停止 ◀ボタンを押して保存したい面を出す

保存したいシート面の出しかたは、印刷操作と同じです。
「基本の印刷操作」18 ページをご覧ください。

お知らせ

- 保存は見えている 1 面分が USB メモリに保存されます。
- シート面の周囲は保存できないことがあります。9 ページ「読み取り許容範囲について」をご覧ください。

4 保存 ボタンを押して保存をする



USB メモリ保存中は
順次回転点滅

【表示窓】

- USB メモリを差し込むと、本体表示パネルのステータスの USB ランプが緑に点灯します。点灯を確認してから保存ボタンを押してください。
- 1 面分の読み取り動作（スクロール）をし、停止すると USB メモリに保存を始めます。
  USB メモリに保存中は表示窓の表示が順次時計回りに点滅していきます。

“US”の点滅表示（5 秒間）は USB メモリが未装着を知らせます。USB メモリを装着してから保存 ボタンを押してください。

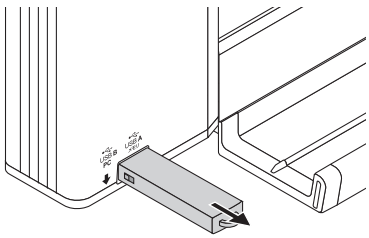
“FL”の点滅表示（5 秒間）は USB メモリに保存するのに十分な空き容量がありません。
容量に余裕のある USB メモリと交換してください。
その他のエラー表示は 49 ページ「エラー表示の情報内容」をご覧ください。

お知らせ

- USB メモリによっては、認識や保存に時間がかかる場合があります。
- 読み取り動作中に電源 ボタンを押した場合、USB メモリ保存が中断され途中までの画像データが USB メモリに保存されます。
  シート面を移動させる場合は、スクロールが停止してから送り／停止 ボタンを押してください。
- 保存されたファイルの日付／時刻は本機の時刻が記録されます。35, 41 ページ「本体機器設定」をご覧ください。
- 本機とパソコンを USB ケーブルで接続しているときは PC 保存用メモリに保存されます。USB メモリには保存されませんので、ご注意ください。

5 USB メモリをはずす

表示窓の回転点滅が点灯に変わり、USB メモリのアクセスランプが点滅していないことを確認してから USB メモリを真っすぐ抜いてください。
（詳しくは、USB メモリの取扱説明書をご覧ください。）



ご注意

- USB メモリ保存中（表示窓の回転点滅表示中）や USB メモリのアクセスランプ点滅中は USB メモリを抜かないでください。データが破損する場合があります。

6 本機を使わないときは電源 ボタンを押して電源を切る（スタンバイ状態）

お知らせ

- 表示窓に 1 秒間隔で“USb”文字が流れて表示した場合は、USB メモリが装着されていることを知らせています。USB メモリを抜くと電源が切れます（USB メモリ抜き忘れ機能）。
- 本機とパソコンを USB ケーブルで接続すると、オートパワーオフ（自動的に電源切る機能）は解除されます。
- **電源 ボタンを押して電源**を切ると PC 保存用メモリに保存されている読み取り画像ファイルは消去されます。なお、ネットワーク保存用メモリに保存されているファイルは消去されません。

画像ファイルをパソコンに保存する／削除する

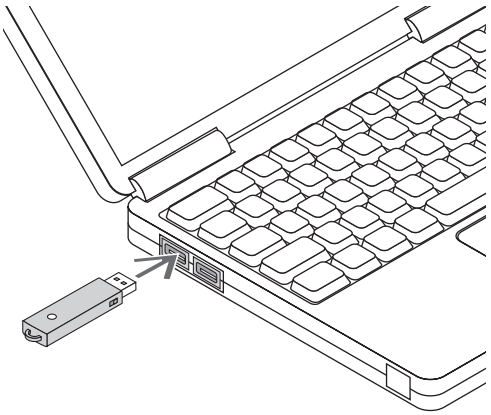
USB メモリ内の画像ファイルをパソコンのハードディスクに保存する、また、USB メモリの容量が一杯になったときにフォルダを削除する場合の操作例です（保存や削除はエクスプローラを使う方法など色々あります）。パソコンの使いかたは、パソコンや使用ソフトウェアの説明書をご覧ください。

USB メモリ内のフォルダ名は CB_Image です。このフォルダの中に画像ファイルが保存されています。
お買い上げいただいたときの工場出荷時の画像ファイル名は　PV-xxx.png（PNG ファイル）です。xxx は番号（001 から始まる 3 桁表記）がふられます（例　PV-001.png）。
画像形式は JPEG、PNG、PDF ファイルの選択が本体機器設定で行えます。（34, 41 ページ参照）

1 パソコンの USB ポートに USB メモリを差し込む

はじめてパソコンと接続する場合は、USB ドライバのインストールが必要です。お使いの USB メモリの説明書に従ってください。

- 通常、Windows XP/ Windows Vista/Windows 7 は標準ドライバが自動的にインストールされ，［マイコンピュータ（またはコンピュータ）］に［リムーバブルデバイス］として認識されます。



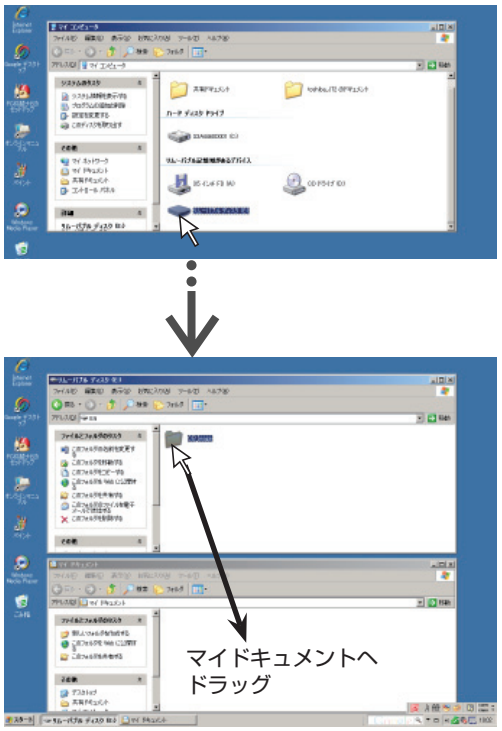
2 USB メモリの画像ファイルをパソコンに保存する場合

1. ［マイコンピュータ］（またはコンピュータ）を開き、この中から接続した USB メモリのドライブを開きます。

“CB_Image” が本機の画像ファイルが保存されているフォルダ名です。

2. “CB_Image” のフォルダを［マイドキュメント］などに保存します。

“CB_Image” に入っている全データが保存されます。



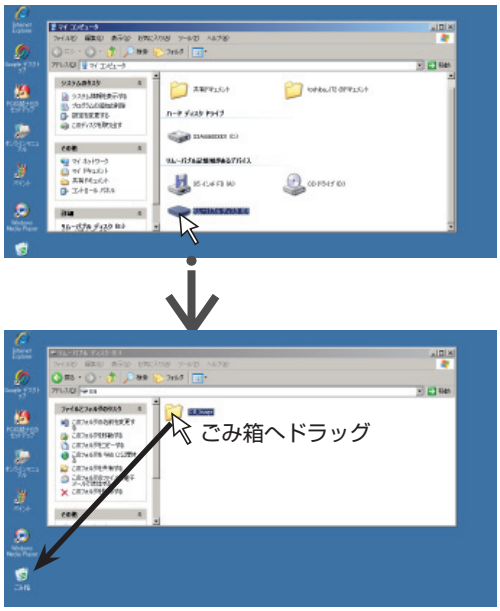
ご注意

パソコンの使用環境により正しく動作しない場合があります。

- USB 機器を複数台パソコンに接続して同時に使用している場合
- USB ハブに接続しているときや延長ケーブルを使って接続している場合。

USB メモリの画像ファイルをパソコンで削除する場合

大切な画像ファイルは消去の前にかならずパソコンに保存してください（データのバックアップ）。



1. **［マイコンピュータ］（またはコンピュータ）を開き、この中から接続した USB メモリのドライブを開きます。**
   “CB_Image” が本機の画像ファイルが保存されているフォルダ名です。

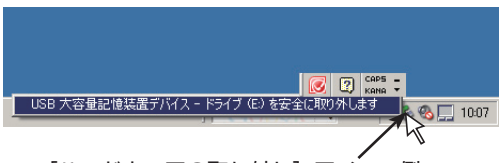
2. **“CB_Image” のフォルダを［ごみ箱］に入れ、ごみ箱を右クリックしプルダウンメニューから［ごみ箱の中を空にする］を選択します。**
   “CB_Image” に入っている全データが削除されます。

   フォルダごと削除しても、本機で新しく USB メモリ保存すると自動的に “CB_Image” のフォルダは作成されます。

3 USB メモリを外す

パソコンの OS によって切断操作が異なります。詳しくはパソコンの取扱説明書やパソコンのヘルプをご覧ください。

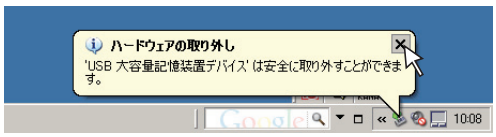
1. タスクバーにある［ハードウェアの取り外し］アイコン をクリックして取り外す USB ドライブ（例「USB 大容量記憶装置デバイス (E:)」デバイス番号はお使いのパソコンのシステムによって異なります）をクリックします。



［ハードウェアの取り外し］アイコン例

2. 「USB 大容量記憶装置デバイスは安全に取り外すことができます。」の画面を表示したら表示をクリックします。

3. ［X］をクリックして閉じます。
   これで USB メモリをパソコンから抜くことができます。



お知らせ

- USB メモリのアクセスランプ点滅中は USB メモリを抜かないでください。データが破損します。
- パソコンが周辺機器の状態チェック動作中など、正常に USB ドライブの切断ができないことがあります。

パソコンと接続して使う

本機とパソコンを USB ケーブルで接続するとパソコンは本機を外部記憶装置（リムーバブルデバイス）として認識します。このデバイス内の、“CBImage” ファイルをパソコンにコピーする方法です。
画像形式は、JPEG (.jpg)、PNG (.png)、PDF (.pdf) の選択が本体機器設定で行えます。（34, 41 ページ参照）
工場出荷時は “PNG” の設定になります。

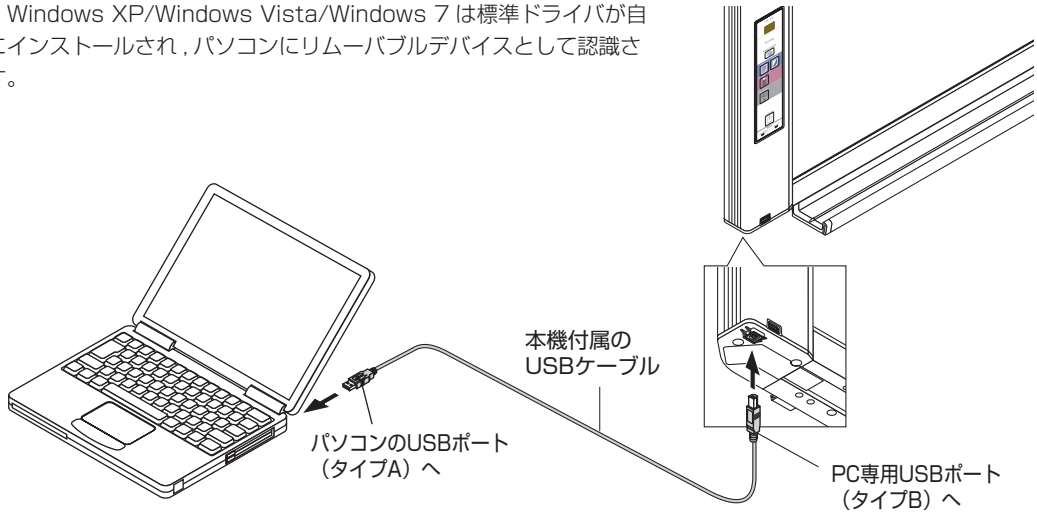
⚠注意　この機能は、本機とパソコンとの USB 切断操作を行う、または本機の電源を切ると、PC 保存用メモリの画像データは消去されます。大切な画像データは、必ずパソコンなどに保存してください。

ご注意

- 本機の PC 保存用メモリには 1 面分のデータのみ保存できます。
  連続して本機の保存動作を行うと、データは上書き保存されます。
- 本機の PC 保存用メモリにパソコンのデータを保存することはおやめください。
- パソコンから PC 保存用メモリのフォーマットはできません。
- 本機の保存 ▮ ボタンを押して保存しているときは、USB ケーブルの抜き差しや本機とのアクセスは行わないでください。パソコン側の動作が不安定となることがあります。
- パソコンから本機の PC 保存用メモリにアクセス中は本体の操作ボタンを押さないでください。本機との応答に時間がかかったり、操作ができない場合があります。
- Macintosh を使用して、パソコンと接続した場合、警告メッセージが表示として、「ディスクを正しく取り出せませんでした。」が表示されますが、正常に PC 保存メモリへ保存できます。

1 本機の電源を入れ、PC 専用 USB ポート（タイプ B）とパソコンを USB ケーブルで接続します。

- 通常、Windows XP/Windows Vista/Windows 7 は標準ドライバが自動的にインストールされ , パソコンにリムーバブルデバイスとして認識されます。



2 保存 ▮ ボタンを押して保存をする

【表示窓】

PC 保存用メモリ保存中は
順次回転点滅

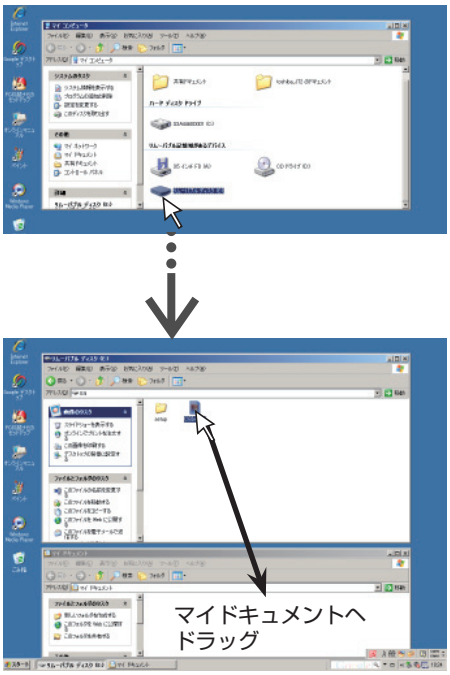
- 1 面分の読み取り動作（スクロール）をし、停止すると PC 保存用メモリに保存を始めます。
  PC 保存用メモリに保存中は表示窓の表示が順次時計回りに点滅していきます。

3 パソコンの［マイコンピュータ］を開き、この中から本機のリムーバブルデバイスを開く。

（1）［マイコンピュータ］（または［コンピュータ］）のアイコンをダブルクリックすると開きます。

（2）本機のデバイス（表示はリムーバブルディスク）をダブルクリックすると本機の PC 保存用メモリが開きます。“CBImage”ファイルが読み取り画像です（設定により jpg、png、pdf となります）。
・setup フォルダにはネットワーク簡易設定ファイルが入っています。

（3）“CBImage”ファイルをパソコンの［マイドキュメント］などにコピーする（設定により jpg、png、pdf となります）。



USB ケーブルを取り外すときは、23 ページの手順 3 と同じ操作を行います。
このとき、本機とパソコンとの USB 切断操作を行うと、PC 保存用メモリの画像データは消去されますので、ご注意ください。

ネットワークと接続して使う

●はじめてネットワークと接続するときは……

(1) 本機をネットワークに接続するための IP アドレスなどの設定を行います。「ネットワーク簡易設定（USB 経由）しかた」（36 ページ参照）

(2) 本機の LAN 端子とハブなどの LAN ポートを市販の LAN ケーブル（10Base-T または 100Base-TX のストレートケーブル）で接続します。

(3) Web ブラウザから本機のネットワーク設定または FTP サーバーの設定を行います。（「詳細設定（LAN 経由）のしかた」38 ページ参照）
FTP サーバーに画像ファイルを保存する場合は、FTP サーバーに保存用のフォルダを作成してください。設定やフォルダの作成はネットワーク管理者にご相談ください。

ご注意

- ボード本体に保存されている大切な画像ファイルは、必ずパソコンに転送しておいてください（データのバックアップ）。万一、本機が故障した場合、故障箇所によっては保存データが消失したり、転送できなくなります。データの消失など一切の責任を当社は負いかねますのであらかじめご承ください。
- ファイアウォールを有効にした場合、本機は正常に動作しません。

LAN ケーブルの接続やネットワークの各種設定が終了しているものとして以下の説明をしています。

読み取り画像をボード本体／FTP サーバーに保存する

準備： 電源プラグが壁面の電源コンセントに接続しているか確認してください。

1 電源 ⏻ ボタンを押して電源を入れる

お知らせ

- 電源を入れる際は、電源プラグを接続した後または電源を切った（スタンバイ状態）後、約 5 秒以上待ってから電源 ⏻ ボタンを押してください。
- 電源 ⏻ ボタンを押して電源を入れると、表示窓の LED が点灯します。

2 送り / 停止 ◀|||| ボタンを押して保存したい面を出す

保存したいシート面の出しかたは、印刷操作と同じです。
「基本の印刷操作」18 ページをご覧ください。

お知らせ

- 保存は見えている 1 面分がボード本体または FTP サーバー保存されます。
- ボード本体（ネットワーク保存メモリ）を保存先に選択した場合、約 100 枚の画像ファイルの保存が可能です。
- シート面の周囲は保存できないことがあります。9 ページ「読み取り許容範囲について」をご覧ください。

3 ネットワーク ボタンを押して保存をする

保存中は順次回転点滅

【表示窓】

- 1 面分の読み取り動作（スクロール）をし、停止するとネットワーク設定で設定されている保存先へデータが保存されます。
  保存先の選択は 43 ページ「ネットワーク設定」をご覧ください。

お知らせ

- ネットワークの通信状況によっては、認識や保存に時間がかかる場合があります。
- “E8”点滅表示（約 5 秒間）は、セキュリティ設定→ネットワーク保存が「禁止」に設定されています。（45 ページ参照）
- “L1”～“L5”点滅表示（約 5 秒間）は、ネットワーク設定が正しくないことを知らせます。（50 ページ参照）
- “FL”点滅表示（約 5 秒間）は、保存先に十分な空き容量がありません。画像ファイルを削除してください。（ 30, 32 ページ参照）。
- 読み取り動作中に電源 ボタンを押した場合、保存が中断され途中までの画像データが保存されます。
  シート面を移動させる場合は、スクロールが停止してから送り／停止ボタンを押してください。
- ネットワーク ボタンを押すと保存先に画像ファイルを順次保存していきます（ファイル名は日付 _ 時刻です）。 保存されたファイルの日付／時刻は本機の時刻が記録されます。時刻設定は 15,41 ページ「本体機器設定のしかた」をご覧ください。

4 本機を使わないときは電源 ボタンを押して電源を切る（スタンバイ状態）

画像ファイルをパソコンに転送する／削除する

保存先（ボード本体または FTP サーバー）に保存された画像ファイルをご自分のパソコンに取り込みます。
読み取り画像の保存先設定により操作が異なります。（43 ページ「ネットワーク設定」参照）
画像ファイルは画像形式の設定により JPEG、PNG（初期値）、PDF で保存されます。（34, 41 ページ「本体機器設定」参照）

転送には下記の入力が必要になります。
わからないときは社内のネットワーク管理者にお聞きください。
保存先にログイン（通信路をつなぐことを言います）：ボードの IP アドレスまたは FTP サーバーの IP アドレス
認証画面： 保存先がボード本体の場合…ユーザー設定で登録しているユーザー名とパスワード
保存先が FTP サーバーの場合…FTP サーバーに登録済みのユーザー名とパスワード

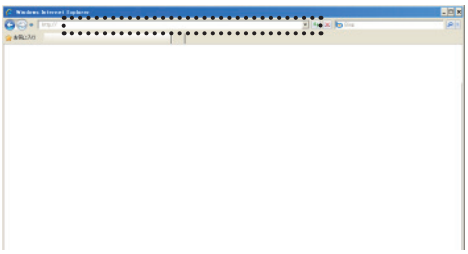
■ 保存先を［ボード本体］に設定している場合

ボード本体に読み取り画像を保存しています。この画像ファイルをネットワークに接続しているパソコンにダウンロード（取り出し）します。本機がスタンバイ状態でもダウンロードできます（本機の電源がコンセントに接続していないとダウンロードはできません）。

1 パソコンの Web ブラウザを起動し、ボード本体にログインする

ボード IP アドレスを入力し［Enter］キーを押します。
半角英数字で入力してください。
・ 工場出荷時および初期値ではボード本体の IP アドレスは未設定ですのでログインはできません。

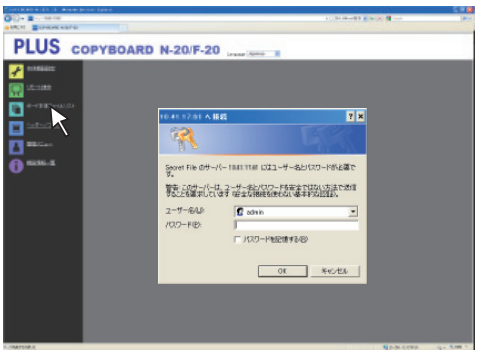
トップ画面が表示されます。



2 メニューの［ボード本体ファイルリスト］をクリックする

認証画面が開きます。

・ご購入時パスワードは設定されていません。
ユーザー名に半角英文字　admin　を入力し［OK］ボタンをクリックします。
・ユーザーパスワードを設定しているときは、ユーザー名（大文字小文字の区別があります）とパスワード（大文字小文字の区別があります）を半角英数字で入力してください。その後、［OK］ボタンをクリックします。



正しければ認証画面が閉じ、ファイルリストが表示されます。

お知らせ

- 誰もがログインできないようにするためユーザー名とパスワードの設定をお勧めします。（44 ページ「ユーザー設定」参照）

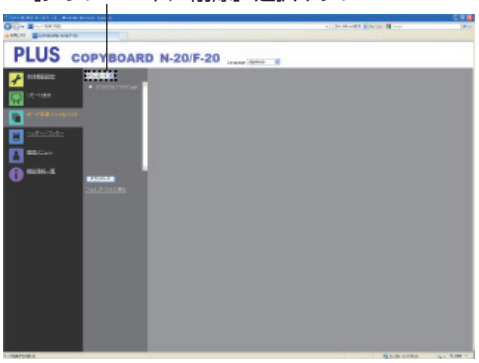
3 目的の日付をクリックする

ファイルリストに替わります。

・画像ファイルは日付（読み取り画像ファイルの保存日付）でグループ化してファイルを管理しています。このために日付リストを表示します。

・［ダウンロード／削除］選択ボタンがダウンロードを選択していることを確認してください。
「▼」をクリックするとプルダウン一覧を表示します。［ダウンロード］をクリックしてください。

［ダウンロード／削除］選択ボタン

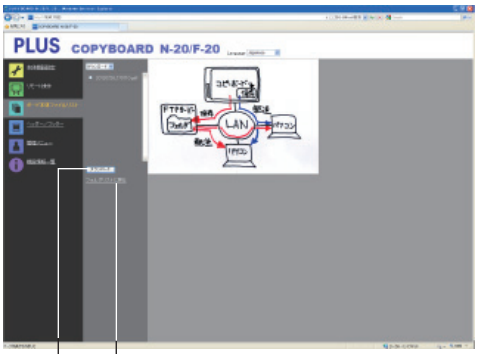


4 ファイルリストからパソコンに転送したい画像を選択しする

ラジオボタン◯をクリックすると◉チェックが入りプレビュー画面が表示されます。

パソコンに画像をダウンロード）する

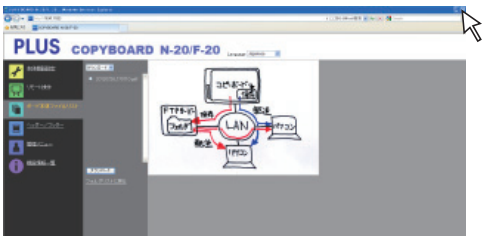
(1) ［ダウンロード］ボタンをクリックします。
(2) パソコンの「名前を付けて保存」画面が表示されます。
(3) 保存先を選択して［保存］ボタンをクリックします。
ダウンロードを開始します。
他の画像ファイルを取り込む場合は「ファイルリストに戻る」をクリックしてフォルダリストに戻し、手順３から行ってください。



［ダウンロード］ボタン　（ファイルリストに戻る）

5 Web ブラウザを終了する

ブラウザ画面の終了［X］をクリックすると終了します。



■ボード本体の画像ファイルを削除する

ご注意

- セキュリティ設定の「ユーザー内部画像データ削除」が「禁止」に設定している場合は削除できません。管理者権限で「許可」に変更することができます。（45 ページ参照）

1 28 ページの手順 1.2.3 の操作を行い、ファイルリスト画面を表示させる

2 ［削除］ を選択する

ダウンロード／削除選択ボタンの「▼」をクリックするとプルダウン一覧を表示します。［削除］ をクリックしてください。
削除を選択するとチェックボックス□に変わります。

［ダウンロード／削除］ 選択ボタン

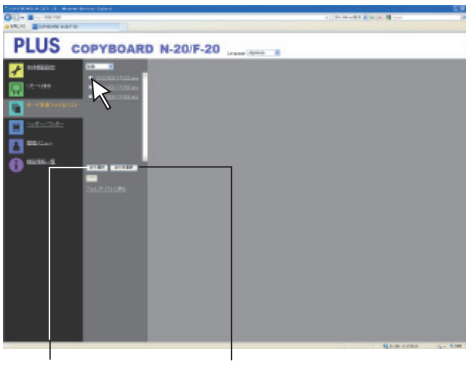
3 削除する画像ファイルを選択する

個別に選択して削除する場合

削除する画像ファイルのチェックボックスをクリックしてチェックを入れていきます。

一括削除する場合

［全て選択］ ボタンをクリックします。全てのチェックボックスにチェックが入ります。削除しない画像が数ファイルある場合はそのファイルのチェックボックスを外してください。
全てのファイルのチェックボックスを外すときは［全て未選択］ をクリックすると全てのチェックが外れます。



［全て選択］ ボタン　［全て未選択］ ボタン

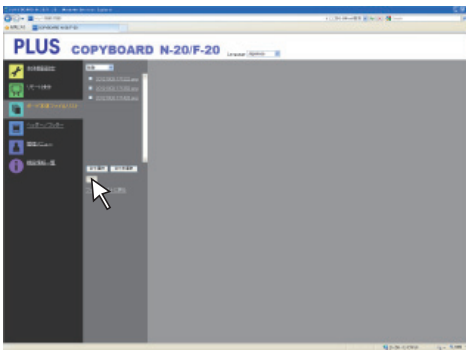
お知らせ

- ファイル名をクリックするとプレビューされます。
- 削除の前にプレビュー画像で読み取り画像を確認してください。

4 削除を実行する

大切な画像ファイルは削除の前にかならずパソコンに保存してください（データのバックアップ）。削除後の復帰はできません。
［削除］ ボタンをクリックするとチェックボックスが入っている画像ファイルが削除されます。

・ セキュリティで「ユーザー内部画像データ削除」が不可になっている場合は “ファイルの削除権限がありません。” を表示して削除できないことを知らせます。（45 ページ「セキュリティ設定」参照）



■ 保存先を［FTP サーバー］に設定している場合

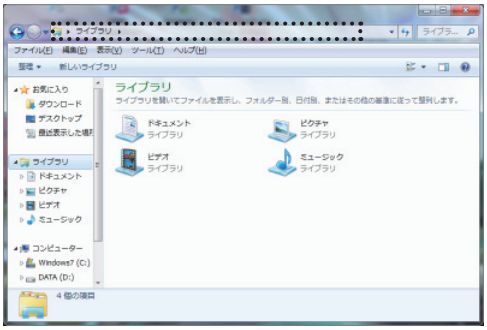
保存先を FTP サーバーに設定している場合は、ネットワークに接続されている FTP サーバーに読み込み画像を保存しています。この画像ファイルをネットワークに接続しているパソコンに転送します。
パソコンのエクスプローラから取り込む方法で説明しています。

1 コンピュータアイコンまたはスタートメニューからコンピュータをクリックします。

エクスプローラが開きます。

2 FTP サーバーにログインする

エクスプローラのアドレス欄をクリックして、ftp:// の後に続けて FTP サーバーの IP アドレスを入力し、［Enter］キーを押します。
FTP サーバーの認証画面が開きます。

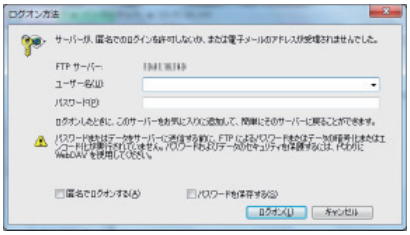


3 認証画面に入力する

FTP サーバーに登録済みのユーザー名（利用者）とパスワードを入力し［ログイン］ボタンをクリックします。

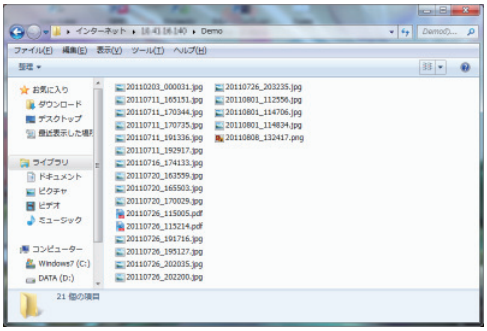
・ ユーザー名（大文字小文字の区別があります）とパスワード（大文字小文字の区別があります）を半角英数字で入力してください。その後、［ログイン］ボタンをクリックします。

正しければ認証画面が閉じ、ファイルリストが表示されます。



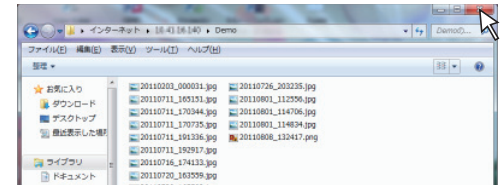
4 パソコンに画像ファイルを転送する

FTP サーバーのフォルダ／ファイル一覧画面から目的のフォルダまたは画像ファイル選択し、マウスを右クリックしてプルダウンメニューから「コピー」を選択し、マイドキュメントなどにコピーします。
クリックドラックでコピーすることもできます。



5 エクスプローラ画面を閉じる

エクスプローラ画面の終了［X］をクリックすると閉じます。



お知らせ

- **Web ブラウザから FTP サーバーにログインする方法**
  28 ページの「保存先を［ボード本体］に設定している場合」と同じ要領です。
  ただし、ログインは FTP サーバーの IP アドレス（ftp:// を入力し、続けて IP アドレスを入力してください）、認証画面では FTP サーバーに登録済みのユーザー名、パスワードを入力してください。

■ FTP サーバ内の画像ファイルを削除する

前ページ手順 4 のとき、削除するフォルダまたは画像ファイルを選択し、マウスを右クリックしてプルダウンメニューから「削除」を選択します。確認画面で「はい」をクリックすると削除されます。

削除できない場合
・ FTP サーバーのフォルダにアクセス制限が設定されていませんか。

ご注意

- FTP サーバー内のフォルダやファイルを削除するときは注意深く行ってください。
- 間違えて他のフォルダやファイルを削除しないよう再確認してから削除してください。

本体機器設定とネットワーク設定のしかた

機器設定には、本体の操作ボタンから設定する（本体機器設定）、USB 接続で設定する（ネットワーク簡易設定）、LAN 経由で設定する（詳細設定：本体機器設定とネットワーク設定）の 3 つの方法があります。

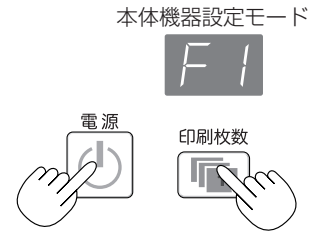
本体機器設定（本体ボタン操作）

■ 基本の設定操作

- 電源が入っている（表示窓が点灯している）ことを確認してください。
- 本体機器設定モードのとき、10 秒間ボタン操作をしないと通常モードに戻りますので、10 秒以内にボタン操作を行ってください。

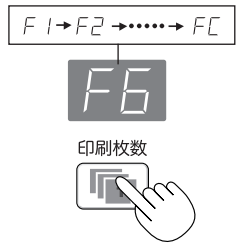
1 **本体機器設定モードに切り替える**

電源 ⏻ ボタンを押したまま印刷枚数 ボタンを押し、電源 ⏻ ボタンを離すと本体機器設定に切り替わります。
表示窓が“F1”表示になります。
“F1”は時刻設定です。時刻設定は 15 ページをご覧ください。



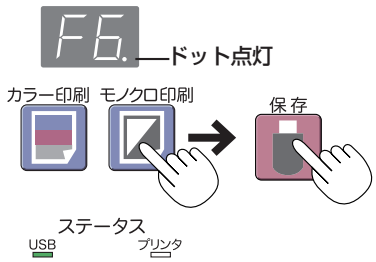
2 **［機能番号］を選択し、保存 ボタンを押す**

印刷枚数 ボタンを押して（押すごとに変わり FC の次は F1 に戻ります）目的の機能番号を選択し、保存 ボタンを押して決定します。
機能番号の項目名は次ページの「機能番号と設定内容一覧」をご覧ください。
・保存 ボタンを押すと変更する機能番号が決定されドット（例 F6.）が点灯します。



3 **［設定内容］を選択し、保存 ボタンを押す**

カラー印刷 ボタンまたはモノクロ印刷 ボタンを押して内容を確認し、保存 ボタンを押して決定します。
設定内容はステータスの USB ランプとプリンタランプの点灯／消灯で確認します。次ページの「機能番号と設定内容一覧」をご覧ください。



4 **本体機器設定モードを終了する**

電源 ⏻ ボタンを押すと、通常モードに戻ります。
表示窓は印刷枚数表示に戻ります。

■ 機能番号と設定内容一覧

機能番号	設定項目	説明	設定内容	ステータスランプ表示	
F1	時刻設定	印刷用紙への日付 / 時刻の印字や、保存時の画像ファイル情報に日付 / 時刻を記録します。	年、月、日、時、分	点灯なし	
F2	印刷サイズ	A4 用紙サイズで印刷するかレターサイズで印刷するかの選択です。 ・本機とプリンタを接続した場合に動作します。	A4 ★	USB ■（点灯）	プリンタ □（消灯）
			レター	USB □（消灯）	プリンタ ■（点灯）
F3	比率設定	印刷するときの画像の縦／横の比率（アスペクト）の選択です。 等比：本機シート面と同じ比率で印刷されます。 圧縮：A4 サイズまたはレターサイズ用紙の比率に横方向を圧縮して印刷します（例：正円は楕円になります）。	圧縮 ★	USB ■（点灯）	プリンタ □（消灯）
			等比	USB □（消灯）	プリンタ ■（点灯）
F4	カラー印刷	カラー印刷を「禁止」にすると、カラー印刷はできません。 許可：カラー印刷ができる設定 禁止：カラー印刷ができない設定	許可 ★	USB ■（点灯）	プリンタ □（消灯）
			禁止	USB □（消灯）	プリンタ ■（点灯）
F5	解像度	画像ファイルの解像度の選択です。 標準：読み取り画像の縦・横が 1/2 サイズになります。高解像度選択時の 1/4 の画像データ量になります。 高解像度：読み取り画像と同じ解像度（縦・横が 1/1 サイズ）になります。標準選択時よりきれいな画像になります。	標準	USB ■（点灯）	プリンタ □（消灯）
			高解像度★	USB □（消灯）	プリンタ ■（点灯）
F6	画像形式	保存画像ファイルの画像形式の選択です。 読み取り画像を JPEG（拡張子 .jpg）、PNG（拡張子 .png）または PDF(拡張子 .pdf) に変換します。	JPEG	USB ■（点灯）	プリンタ □（消灯）
			PNG ★	USB □（消灯）	プリンタ ■（点灯）
			PDF	USB ■（点灯）	プリンタ ■（点灯）
F7	ヘッダー / フッター	本体に登録しているヘッダー / フッター情報を出力するか、しないかの設定です。 なし：ヘッダー / フッター情報を出力しません。 あり：印刷、画像ファイルにヘッダー / フッター情報を出力します。 お知らせ ・用紙の上下の余白にタイトルや社名等の文字や画像を入れてどのページも同じ情報の印刷や画像ファイル作成をします。これをヘッダー(上部情報)・フッター（下部情報）といいます。 ・作成方法および登録方法は「ヘッダー / フッターの作成と登録のしかた」（48 ページ参照）をご覧ください。 ・プリンタの機種によっては、実際の画像イメージと異なる配色になることがあります。	なし ★	USB ■（点灯）	プリンタ □（消灯）
			あり	USB □（消灯）	プリンタ ■（点灯）

次ページに続く

機能番号	設定項目	説明	設定内容	ステータスランプ表示	
F8	消し忘れ防止	本体のシート裏面に描かれた文字や図形の消し忘れをお知らせする設定です。機密性のある会議などに効果的です。 無効 : 消し忘れ機能は動作しません。（工場出荷時の設定） 有効 : 電源ボタンを押して電源を切ると、本体操作パネルの表示窓が点滅し、未消去面まで自動的に移動してから、電源が切れます。 ・シート溶着部の汚れ、マーカーの消し残しによっては、正しく消し忘れ防止機能が動作しない場合があります。	無効 ★	USB ■（点灯）	プリンタ □（消灯）
			有効	USB □（消灯）	プリンタ ■（点灯）
F9	日付フォーマット	日付フォーマットの表示形式を選択します。 表示例 YYYY/M/D …… 2011/1/23 01:23 DD-MMM-YYYY … 23-Jan-2011 01:23 MMM-DD-YYYY … Jan-23-2011 01:23	YYYY/M/D ★	USB ■（点灯）	プリンタ □（消灯）
			DD-MMM-YYYY	USB □（消灯）	プリンタ ■（点灯）
			MMM-DD-YYYY	USB ■（点灯）	プリンタ ■（点灯）
FA	機器設定リセット	F2 ～ F9 の本体機器設定を初期値（工場出荷状態）に戻します。 ★が付いている選択内容が初期値です。 (1) FA を選択し、保存ボタンを押します。 FA. 表示（ドットが点灯する）になります。 (2) もう一度保存ボタンを押します。設定がリセットされます。	—	—	—
FC	ネットワークモード	ネットワークのモードの選択です。 グループ : データをボード本体、または、FTP サーバーに保存する設定 パブリック : データを 1 面分だけボード本体に保存してブラウザ経由またはスマートフォンアプリで取得する設定 ※選択後、保存ボタンを押すとシステムが再起動します。	グループ★	USB ■（点灯）	プリンタ □（消灯）
			パブリック	USB □（消灯）	プリンタ ■（点灯）

ネットワーク簡易設定（USB 経由）のしかた

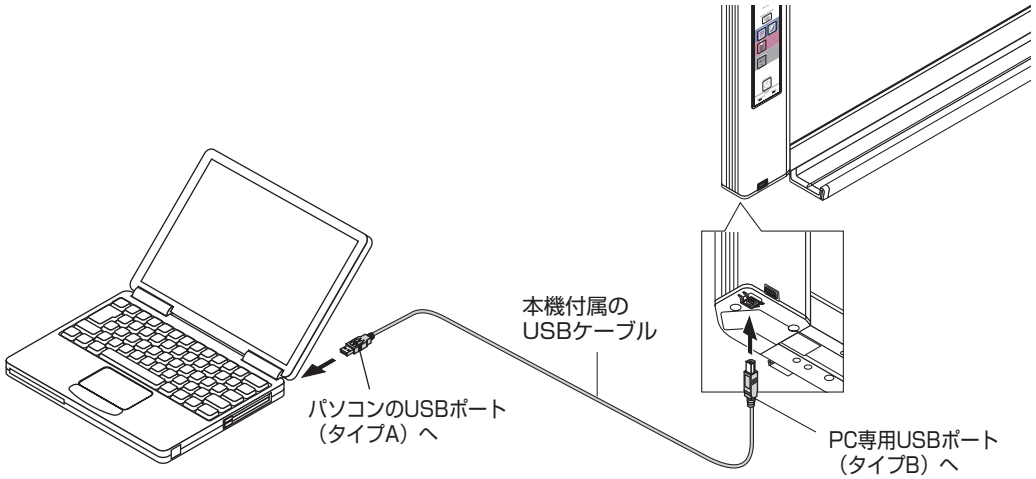
ご購入時（初期値）は、本機の IP アドレスおよびサブネットマスクは未設定になっています。はじめて本機をネットワークと接続して利用するには、このネットワーク簡易設定でネットワーク上の本機の IP アドレスを下記の手順で設定してください。

ご注意

- ネットワークの設定はネットワーク管理者の指示に従ってください。
- パソコンから PC 保存用メモリのフォーマットはできません。
- パソコンから PC 保存用メモリにアクセス中は本体の操作ボタンを押さないでください。本機との応答に時間がかかったり、操作ができない場合があります。

1 本機の電源を入れ、PC 専用 USB ポート（タイプ B）とパソコンを USB ケーブルで接続する

- 通常、Windows XP/Windows Vista/Windows 7 は標準ドライバが自動的にインストールされ , パソコンにリムーバブルデバイスとして認識されます。



2 [マイコンピュータ] を開き、この中から本機のリムーバブルデバイスを開く

（1）［マイコンピュータ］（または［コンピュータ］）のアイコンをダブルクリックすると開きます。

（2）本機のデバイス（表示はリムーバブルディスク）をダブルクリックすると本機の PC 保存用メモリが開きます。

・本機のデバイスの動作確認は［マイコンピュータ］（または［コンピュータ］）を右クリックしてメニューを表示させ、Windows 7 では管理→デバイスマネージャ（Windows XP ではプロパティ→デバイスマネージャ）のディスクドライブ名に“PLUS Copyboard USB Device”を表示していることを確認してください。

3 setup フォルダ内の“setting.ini”ファイルをパソコンのメモ帳などで開く

（1）setup フォルダをダブルクリックして開きます。

（2）この中にある“setting.ini”ファイル（テキスト形式）をパソコンのメモ帳などで開いて直接設定ファイルの記述を書き換えます。

※ 入力可能な文字は半角数字とピリオドのみです。
空白は入れないでください。また、日本語文字の英数字は入力しないでください。本機起動時に不正ファイルと認識されて設定が初期値に戻ります。

ご購入時またはネットワーク設定リセット時の表記

IP Address=* ..... IP アドレスを入力（固定）
Subnet Mask=* ..... サブネットマスクを入力
Default Gateway=* ..... デフォルトゲートウェイは必要な場合に入力

項目	項目名	設定値	初期設定
IP アドレス	IP Address	任意	空白
サブネットマスク	Subnet Mask	任意	空白
デフォルトゲートウェイ	Default Gateway	任意	空白

4 設定ファイル“setting.ini”に上書き保存する

保存先： 本機のリムーバブルディスクの setup フォルダ
ファイル名：setting.ini

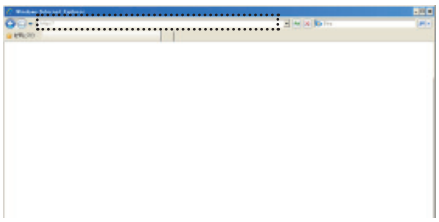
・変更内容はメモ書きして保管しておきましょう

書き換えが完了すると自動的に本機が再起動します。

パソコンで USB 切断操作をし（23 ページ手順 3 参照）その後、USB ケーブルを外してください。

5 接続確認を行う

（1）本機をスイッチングハブなどの LAN ポートに接続します。
（2）ネットワークに接続しているパソコンの Web ブラウザ（例: Internet Explorer）を立ち上げます。
（3）アドレス欄の http:// に続けて設定した IP アドレスを入力し、［Enter］キーを押します。
本体のトップ画面が開けば本体のネットワーク接続が正しく行われました。



● **本体のトップ画面を表示しない場合**

下記のことが考えられます。

・設定した IP アドレスの入力が間違えていませんか。
・本機の LAN 端子が正しくネットワークの LAN ポートと接続されていますか。
・設定した IP アドレスが他の機器で使用していませんか。
・本機を複数台接続した場合、同じ IP アドレスでネットワークに接続していませんか。
・ルータ等の DHCP の自動取得範囲内に設定した IP アドレスが含まれていませんか。
・プロキシサーバーを使用している場合は、プロキシの設定の「例外」に本機の IP アドレスを、追加してプロキシを使用しないよう設定してください。

詳細設定（LAN 経由）のしかた

本機をローカルエリアネットワーク（以降　LAN またはネットワークと表記します）と接続してパソコンの Web ブラウザから本体機器設定とネットワーク設定などを行います。

詳細設定を行うにはアクセス権が必要です。「管理者権限」、「ファイルリスト閲覧権限」と「権限なし」の 3 種類あり、選択できるメニュー項目（設定項目の一部）が制限されます。なお、管理者およびユーザーの登録は 44 ページの「ユーザー設定」で行います。

メニュー項目とアクセス権限一覧

メニュー項目	設定項目の一部	管理者権限	ファイルリスト閲覧権限	権限なし
本体機器設定		○	○	○
ファイルリスト	プレビューおよびダウンロード	○	○	×
	削除	○	×注	×
ヘッダー／フッター		○	○	○
管理者メニュー	ネットワーク設定	○	×	×
	ユーザー設定	○	×	×
	セキュリティ設定	○	×	×
	ディスク管理設定	○	×	×
機器情報一覧		○	○	○

○印：アクセス可　　×印：アクセス不可

注）セキュリティ設定の「ユーザー内部画像データ削除」が許可に設定している場合はファイルリスト閲覧権限で削除できます。

ご注意

- 本機をネットワークに接続する場合は、必ずネットワーク管理者に相談のうえ、各設定を行ってください。

お知らせ

- ご使用のネットワークによっては、表示速度やボタンの反応が遅くなったり、操作を受け付けなかったりすることがあります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。また続けてボタン操作を行うと本機が応答しなくなることがあります。その場合はしばらく待ってから再度操作を行ってください。しばらく待っても応答がない場合は、本機の電源を切って、再度、電源を入れてください。
- Web ブラウザでトップ画面が表示されない場合は、Ctrl ＋ F5 キーを押して Web ブラウザの画面表示を更新してください。
- 本機は「JavaScript」および「Cookie」を利用しています。Web ブラウザはこれらの機能が動作するように設定してください。
- 本機は、ページ自動読み込み（リダイレクト）を行います。web ブラウザは、この機能が動作するよう設定してください。

■基本の設定操作

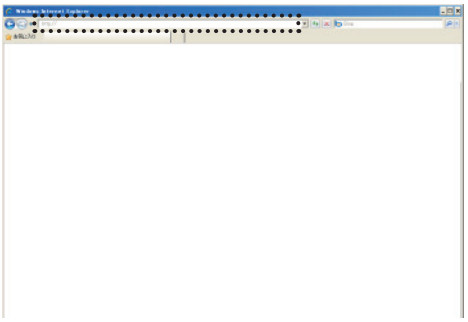
ここでは設定画面の出しかた、終了のしかたを Internet Explorer（Web ブラウザ）で説明しています。

準備（1）本機の LAN 端子をスイッチングハブの LAN ポートと LAN ケーブルで接続します。
（2）本機の電源を入れる

1 ネットワークに接続されているパソコンの Web ブラウザを立ち上げる

「ページを表示できません」と表示される場合がありますが、このまま次に移ってください。

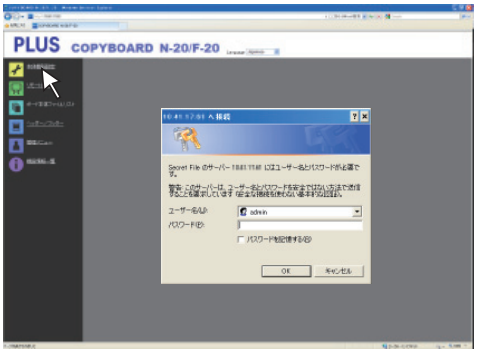
2 本機の IP アドレスを入力する



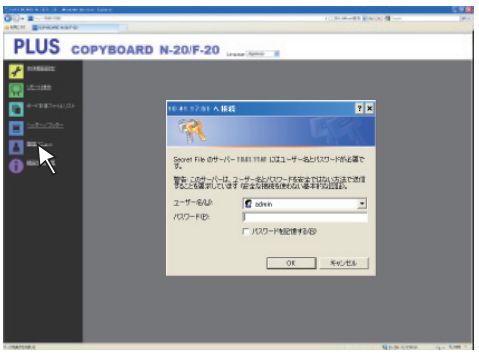
Web ブラウザの URL 欄に　http:// の後に続けてボードの IP アドレスを入力し 、[Enter] キーを押します。
入力は半角英数字で入力してください。
本機につながるとトップ画面を表示します。

ご購入時に本機をネットワークと接続するとき
ご購入時、IP アドレスおよびサブネットマスクは未設定になっています。必ず、「ネットワーク簡易設定（USB 経由）のしかた」（36 ページ参照）から確認して、IP アドレス等の設定を行ってください。

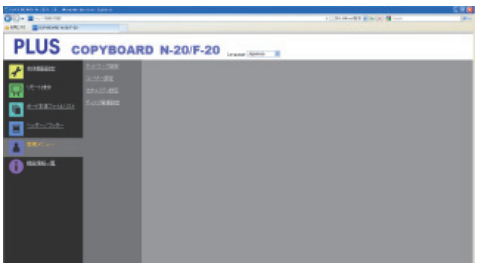
3 メニューから目的の設定項目をクリックします。



認証が必要な設定項目は、ユーザー認証画面を表示します。
ユーザー名とパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックする。
・ ご購入時パスワードは設定されていません。
　ユーザー名に半角英文字　admin　を入力し［OK］ボタンをクリックします。
・ ユーザー認証画面では管理者ユーザー名／管理者パスワードでも認証されます。
認証を確定すると目的のページが表示されます。
本書の各説明ページをご覧ください。
　本体機器設定（41 ページ）
　ボード本体ファイルリスト（28 ページ）
　ヘッダー／フッター（42 ページ）
　管理者メニュー
　機器情報一覧（46 ページ）



「管理者メニュー」は下記の設定変更のときにクリックします。
管理者権限でメニューに入れます。
　ネットワーク設定（43 ページ）
　ユーザー設定（44 ページ）
　セキュリティ設定（45 ページ）
　ディスク管理設定（46 ページ）
（1）「管理者メニュー」をクリックします。
　管理者認証画面が開きます。
（2）管理者ユーザー名と管理者パスワードを入力し、［OK］ボタンをクリックする。
　・ ご購入時パスワードは設定されていません。
　　ユーザー名に半角英文字　admin　を入力し［OK］ボタンをクリックします。
　認証を確定すると管理者権限のメニューが表示されます。
　目的のメニュー項目をクリックすると設定のページが表示されます。



お知らせ
- ユーザー名およびパスワードには大文字と小文字の区別がありますので正しく入力してください。

4 変更や設定を行う

右の画面は表示例で本体機器設定のページです。

●選択と入力方法

ラジオボタン

選択項目のいずれか 1 つが選択できます。○をクリックすると◎になります。

入力ボックス

ボックスをクリックすると矢印カーソルが文字入力カーソル“｜”に変わります。パソコンの文字入力方法と同じです。

·入力文字には項目内容により制限があります。（44 ページ参照）

参照ボタン / 送信ボタン

ヘッダー／フッターをご覧ください。（42 ページ参照）

設定ボタン

クリックすると、設定／変更内容を本体に送り書き換えます。

書き換えが完了すると本体機器設定のページが「設定しました」の文字表示に変わります。

· ネットワーク設定の IP アドレスなどを変更したときは、本体が再起動します。（43 ページ参照）

設定や変更を行った場合は、必ず［設定］ボタンを押して、本体の内容を書き換えてください。

5 Web ブラウザを終了する

ブラウザ画面の終了［X］をクリックすると終了します。

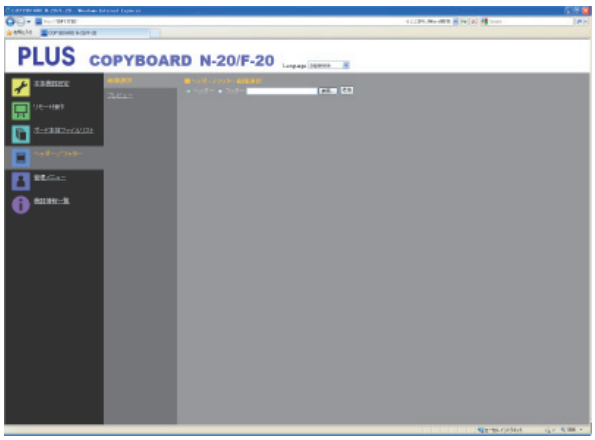
■本体機器設定

本機の各機能の設定変更のページです。本体ボタン操作の「機能番号と設定内容一覧」と同じ設定内容です。
（画面の出しかたは 39 ページ「基本の設定操作」手順 3 参照）

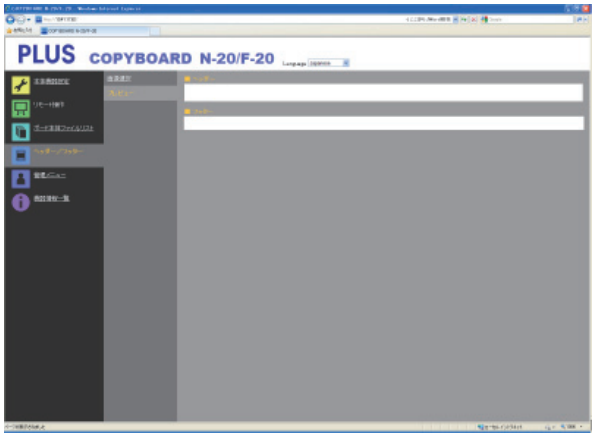
本体設定項目	設定内容／説明	初期値
印刷サイズ	印刷サイズを選択します。	A4
比率設定	印刷の比率を選択します。	用紙サイズに合わせる
日付設定	本体の日付と時刻を設定します。 年：4 桁、月：2 桁（例　3 月は 03）、日：2 桁（例　6 日は 06）、時：2 桁の 24 時間入力（例　午後 2 時は 14、午前 6 時は 06）、分：2 桁（例　0 分は 00）と入力します。 ※ 空白は入れないでください。また、日本語文字の数字は入力しないでください。日付設定が不正な値のときは、エラー表示されます。 現在時刻の読み取り： ［現在時刻の読み取り］ボタンをクリックすると、パソコンの現在時刻の表示に変わります。このため、日付時刻の設定が不要となります。	
カラー印刷	カラー印刷を許可 / 禁止と設定できます。	許可
解像度	読み取り画像の保存解像度を選択します。	高解像度
画像形式	読み取り画像の保存時の画像形式を選択します。	PNG
ヘッダー／フッター	本体に登録しているヘッダー / フッター情報を出力するか、しないかを設定します。	無効（しない）
消し忘れ防止	消し忘れ防止機能の設定をします。	無効
設定	［設定］ボタンをクリックすると、上記の設定／変更内容を本体に送り書き換えます。 書き換えが完了すると本体機器設定のページが「設定しました。」の文字表示に変わります。	
認証有効時間	リモート操作で使用します。詳細はネットワークリモート操作、設定ガイドを参照してください。	

■ヘッダー／フッター

ヘッダーとフッターを本機に登録して画像を確認する画面です。（画面の出しかたは 39 ページ「基本の設定操作」手順 3 参照）



画像選択の画面

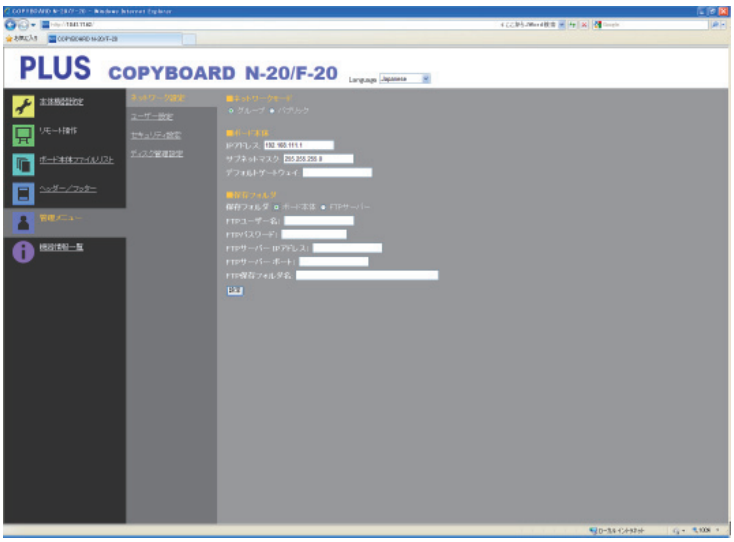


プレビューの画面

画像選択／プレビュー項目	設定内容／説明	初期値
ヘッダー／フッター画像選択	本体に登録する画像がヘッダーかフッターかを選択します。 ラジオボタンをクリックして選択します。 ・画像作成については 48 ページをご覧ください。	ヘッダー
参照	［参照］ボタンをクリックするとパソコンの［ファイルの参照］画面が開きます。画像を選択して［OK］をクリックして決定してください。	—
送信	選択されているヘッダーまたはフッターの画像を本体へ送信します。 ［送信］ボタンをクリックすると送信を開始します。 ・すでに本体に登録されている場合は、上書きされます。	—
プレビュー	本体に登録されているヘッダーおよびフッター画像をプレビュー表示します。	—

■ネットワーク設定

ボード本体の IP アドレスや FTP サーバーの IP アドレスなどの設定を行います。
（画面の出しかたは 39 ページ「基本の設定操作」手順 3 参照）



ネットワーク設定項目	設定内容／説明	初期値
IP アドレス	本体の IP アドレスを変更します。本機の IP アドレスは固定でご使用ください。ルータ等の DHCP を使用しているネットワークと接続する場合は、自動取得範囲外の IP アドレスに変更してください。	任意
サブネットマスク	本体のサブネットマスクを設定します。	任意
デフォルトゲートウェイ	本体のデフォルトゲートウェイを設定します。	任意
保存フォルダ	本体の読み取り画像の保存先を設定します。 ボード本体：本体に保存されます。 FTP サーバー：FTP サーバーの指定のフォルダに保存されます。	ボード本体
FTP ユーザー名	FTP サーバーに登録済みのユーザー名です。本機が FTP サーバーへログインして画像ファイルを保存するために必要です。	空白
FTP パスワード	FTP サーバーに登録済みのパスワードです。本機が FTP サーバーへログインして画像ファイルを保存するために必要です。	空白
FTP サーバー IP アドレス	FTP サーバーの IP アドレスを入力します。	空白
FTP サーバーポート	FTP サーバーの標準制御ポート番号です。 通常はこの番号でご使用ください。FTP サーバーのポート番号を変更している場合は、ネットワーク管理者の指示に従って変更してください。	21
FTP 保存フォルダ名	FTP サーバーフォルダ内の画像ファイルを保存するサブフォルダ名を入力します。	空白
設定	［設定］ボタンをクリックすると、上記の設定／変更内容を本体に送り書き換えます。 書き換えが完了すると「再起動します。少しお待ちください」の文字表示に変わります。 IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイが変更された場合、本機は自動的に再起動します。 再起動中は本体の表示窓が順次回転点滅になります。消灯になるまでお待ちください。	—
ネットワークモード	通常はグループを選択してください。パブリックはリモート操作で使用します。詳細はネットワークリモート操作、設定ガイドを参照してください	

お知らせ

- FTP ユーザー名、パスワード、保存ホルダ名など、ご使用できるのは、半角英数字のみです。記号・スペース等はご使用できません。

■ユーザー設定

管理者認証およびユーザー認証に必要なユーザー名とパスワードの設定、ネットワーク設定リセット時に必要な番号を表示します。
（画面の出しかたは 39 ページ「基本の設定操作」手順 3 参照）

ユーザー設定項目	設定内容／説明	初期値
管理者ユーザー名	管理者のユーザー名を設定します。 ・ 半角英数文字（1 バイトコード）を 14 文字以内で入力してください。認証時に大文字小文字を区別します。	admin
管理者パスワード	管理者のパスワードを設定します。 ・ 半角英数文字（1 バイトコード）を 14 文字以内で入力してください。大文字小文字は区別します。	なし
ユーザー名	ユーザー名を設定します。 管理者ユーザー名と同じ入力文字制限があります。	admin
パスワード	パスワードを設定します。 管理者パスワードと同じ入力文字制限があります。	なし
ネットワークリセット番号	ネットワーク設定のリセットで使用する番号です。（47 ページ参照） お知らせ この番号は必ず控えておいてください。管理者パスワードを忘れたときなどに必要です。	—
設定	［設定］ボタンをクリックすると、上記の設定／変更内容を本体に送り書き換えます。 書き換えが完了すると本体機器設定のページが「設定しました。」の文字表示に変わります。	—

お知らせ

● ユーザー設定を下記に控えておくと忘れたときに便利です。

管理者ユーザー名 □□□□□□□□□□□□□□

管理者パスワード □□□□□□□□□□□□□□

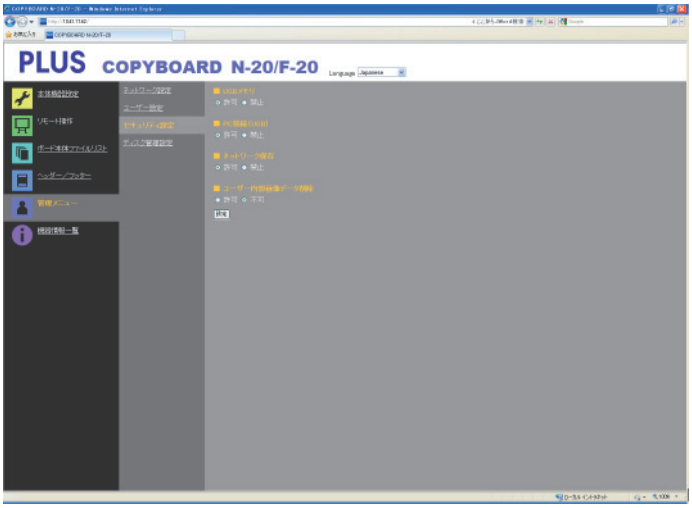
ユーザー名 □□□□□□□□□□□□□□

パスワード □□□□□□□□□□□□□□

ネットワークリセット番号 □□

■セキュリティ設定

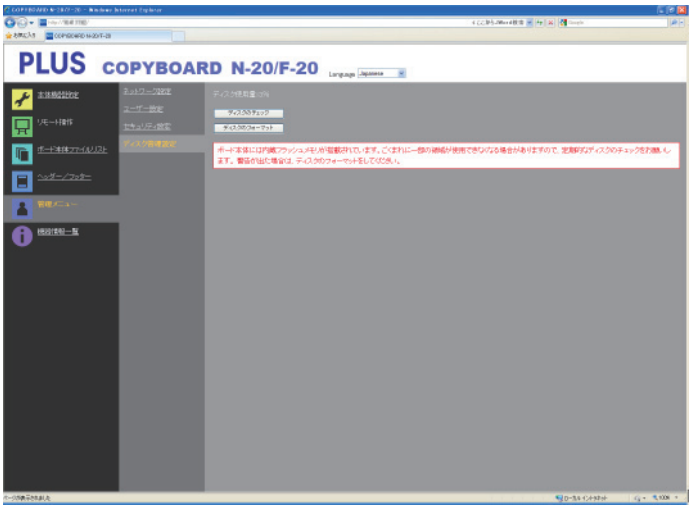
セキュリティを設定すると設定項目へのアクセスをできないようにすることができます。
このページは［管理者メニュー］をクリックして認証画面で管理者ユーザー名と管理者パスワードを入力しないとセキュリティ設定ページに切り替わりません。（画面の出しかたは 39 ページ「基本の設定操作」手順 3 参照）



セキュリティ設定項目	設定内容／説明	初期値
USB メモリ	ＵＳＢメモリへの保存機能を禁止する / 許可する設定です。	許可
PC 接続（USB）	ＰＣ保存用メモリへの画像取り込みを禁止する / 許可する設定です。	許可
ネットワーク保存	ネットワーク保存（保存先；ボード本体／ FTP サーバー）への画像ファイルをパソコンまたは FTP サーバーへの転送を許可する／禁止する設定です。 【ご注意】 ※「禁止」に設定した場合、ネットワーク保存メモリはフォーマットされます。大切な画像ファイルは設定の前にパソコンへ転送してください。	許可
ユーザー内部画像データ削除	ファイルリスト閲覧権限でファイルリストの「削除」機能を禁止する／許可する設定です。 禁止に設定するとボード本体の保存画像ファイルは削除できなくなります。	許可
設定	［設定］ボタンをクリックすると、上記の設定／変更内容を本体に送り書き換えます。 書き換えが完了すると本体機器設定のページが「設定しました。」の文字表示に変わります。	—

■ディスク管理設定

ディスク使用量の確認とディスクチェックおよびディスクフォーマットを行うことができます。
（画面の出しかたは 39 ページ「基本の設定操作」手順 3 参照）



ディスク管理設定項目	設定内容／説明	初期値
ディスク使用量	ネットワーク保存用メモリの使用量をパーセントで表示します。	—
ディスクのチェック	［ディスクのチェック］ボタンをクリックするとネットワーク保存用メモリのチェックを開始します。終了するとチェック結果を表示します。 警告が出たときはディスクのフォーマットを行ってください。	—
ディスクのフォーマット	［ディスクのフォーマット］ボタンをクリックするとネットワーク保存用メモリをフォーマットします。 ご注意： フォーマットの前に大切な画像ファイルはパソコンへ転送してください。	—

■機器情報一覧

本機に設定している詳細設定の内容と本機のファームウェアのバージョンを表示します。
なお、パスワードは表示しません。（画面の出しかたは 39 ページ「基本の設定操作」手順 3 参照）

■ネットワーク設定のリセット

本体のボタン操作でネットワーク設定を初期化します。

リセットされる設定項目：管理者ユーザー名、管理者パスワード、ユーザー名、パスワード、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、保存フォルダ、FTP ユーザー名、FTP パスワード、FTP サーバー IP アドレス、FTP サーバーポート、FTP 保存フォルダ名

ご注意

●リセットを行うとネットワーク設定をもとに戻すことはできません。

1. 電源ボタンを押したままネットワークボタンを押す

ネットワーク設定リセットモードに変わり、表示窓は“00”を点滅表示します。

2. カラー印刷（増加）またはモノクロ印刷（減少）ボタン（減少）ボタンを押してネットワークリセット番号を表示させる

・ネットワークリセット番号は管理者権限でユーザー設定を選択すると見ることができます。

カラー印刷ボタンを押すごとに　01 → 02 →……→ 99 → 00 →　と切り替わります。
モノクロ印刷ボタンを押すごとに　99 → 98 →……→ 01 → 00 → 99　と切り替わります。

番号は例です

3. 保存 ボタンを押して決定する

キャンセルするときは、電源ボタンを押してください。
リセット番号が一致した場合は、表示窓が“LA”を 5 秒間点滅した後、本機のネットワーク設定が初期値に書き変わり自動的に本機が再起動します。

“LE”と 5 秒間点滅後点灯に替わった場合は、リセット番号が間違えています。
・電源ボタンを押してキャンセル後、1 の手順からやり直してください。

■ヘッダー／フッターの作成と登録のしかた

社名やロゴなどの情報を読み取り画像の上下に合成して印刷または表示させるのがヘッダー／フッター機能です。日付と時刻はヘッダーの右上に印刷されます。

●ヘッダーおよびフッター画像を作成する

お手持ちの画像ソフトで JPEG ファイルを作成してください。

画像は下記の解像度で作成してください。

ヘッダー画像の最大サイズ：1248 × 110 ドット※　画像形式：JPEG
フッター画像の最大サイズ：1248 × 40 ドット　　画像形式：JPEG
※ pixels（ピクセル）と表示する場合もあります。

お知らせ　解像度が許容内の画像データでも上下の一部が表示されないことがあります。

画像表示位置

横方向はほぼ中央に配置されます。縦方向は読み取り画像エリアに寄せて配置されます。最大サイズ以下の画像を作成するときは考慮してください。

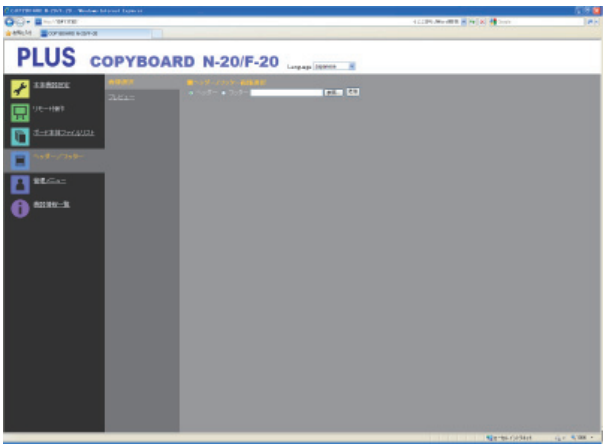
作成のヒント

ロゴデータはイメージスキャナで画像データとしてパソコンに取り込み、指定の解像度内に収まるように切り抜いたりサイズダウンして保存します。
Windows などのペイントを使って画像の貼り付けや文字を入力して作成します。
保存するときは最大サイズ以内のサイズにし、JPEG 形式で保存してください。

●本体に作成画像を登録する

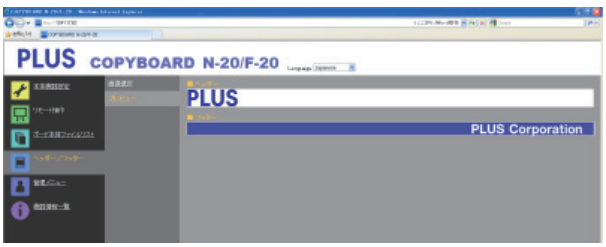
例：ヘッダー画像の登録で説明します。フッター画像を登録するときは同じ要領で登録してください。

1. 詳細設定（LAN 経由）のヘッダー／フッター画面を開きます。（38 ページ参照）
2. ヘッダー／フッター画像選択
   ・プレビューを表示しているときはサブメニューの「画像選択」をクリックしてください。
   ヘッダーのラジオボタンをクリックします。
3. 作成したヘッダー画像を選択します。
   ［参照］ボタンをクリックすると、パソコンのファイルの参照画面を表示します。
   登録するヘッダーの画像ファイルを選択し［OK］ボタンをクリックすると、ファイル名を表示します。
4. ［送信］ボタンをクリックして本体へ送信します。
   送信が完了すると“正常終了”と表示します。
   この時、本体の表示窓は、“HF”の点滅（5 秒後点灯）になります。
   “送信データが大きすぎます”と表示した場合は登録できません。
   Web ブラウザを閉じて、画像ファイルのサイズを調整してください。



お知らせ
ヘッダー／フッターを登録するとヘッダー／フッター機能は「有効」になります。

登録した画像の確認は「プレビュー」をクリックしてください。
これで登録ができました。Web ブラウザを終了させてください。



エラー表示の情報内容

操作パネルの表示窓に次のような点滅表示が出ている場合は次のことをご確認ください。
エラー表示は 5 秒間点滅表示後、点灯に変わります。

●コピーボード（本体）関係

エラー表示番号		現象と対処	
E1	プリンタ未接続 プリンタ用紙なし プリンタ異常	● プリンタケーブルは接続されていますか。 ● プリンタの電源が入っていますか。 ● AC 電源アダプタを使用するプリンタの場合途中のケーブルが抜けていませんか。	● プリンタを正しく接続し、プリンタの電源を入れてください。
		● プリンタに用紙がセットされていますか。	● プリンタの電源を入れ直した後、プリンタに A4 ／レター用紙を入れてください。
		● プリンタのエラーランプが点滅（または点灯）していませんか。	● プリンタの取扱説明書をご覧ください。
E2	USB メモリ 未認識	● 未フォーマットの USB メモリではありませんか。	● 本機は FAT および FAT32 のフォーマットをサポートしています。フォーマットはパソコンで行ってください。
		● 本機に対応していない USB メモリを使用していませんか。	● 本機で使用可能な USB メモリのファイルフォーマットは FAT および FAT32 です。
		● USB メモリの差し込みが不完全ではありませんか。	● パソコンで動作確認を行ってください。
		● USB メモリが破損していませんか。	—
E3	メモリ保存 異常	● メモリに保存中、エラーが発生しました。	● もう一度保存をやり直してください。 ● 処理中は USB メモリの抜き差しを行わないでください。
E4	読み取り異常	● 読み取りランプ点灯不良または読み取り信号エラーです。	● 電源プラグをコンセントから抜きもう一度コンセントに差し込み直してください。
E5	システムエラー	● メモリや内部の異常です。	● 電源プラグをコンセントから抜きもう一度コンセントに差し込み直してください。
E8	セキュリティ 保護	●セキュリティ設定で禁止に設定されています。	● 目的の項目を許可に変更してください。（45 ページ参照）
E9	カラー印刷禁止	●カラー印刷が禁止に設定されています。	●カラー印刷禁止を許可に変更してください。（34, 41 ページ参照）
US	USB メモリ 未装着	● USB メモリが本体に装着されていません。	● USB メモリを USB ポートに装着してください。
FL	メモリフル	● メモリに十分な空き容量がありません。	● パソコンで不要なデータを削除してください。（23, 30 ページ参照）
EL	対応外のプリンタ が接続されている	● 本機対応外のプリンタが接続されています。	● 電源⏻ボタンを押して電源を切ってください。記録が必要な場合は電源を入れ USB メモリに保存してください。
EH	時刻設定エラー	● 時刻設定時にエラーが発生しました。	● 始めから日時／時刻に合わせて直してください。
“USb”の文字表示が流れている場合……抜き忘れ警告 US→Sb→b		● USB メモリを本体に装着したまま電源⏻ボタンを押しましたか。	● USB メモリが本体に装着されています。USB メモリを抜くと電源が切れスタンバイ状態になります。

症状が直らない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●ネットワーク（本体）関係

エラー表示番号		現象と対処	
	LAN ケーブル未接続	● LAN 端子にケーブルが接続されていません。	● LAN ケーブルを正しく接続してください。
	FTP サーバー認証エラー	● ユーザー名またはパスワードが違います。	● 正しいユーザー名およびパスワードを入力してください（43 ページ参照）
	FTP サーバー接続失敗	● FTP サーバーの IP アドレスが間違っています。	● ネットワーク管理者へ相談のうえ、設定を行ってください（43 ページ参照）
	FTP サーバー書き込み失敗	● FTP 保存フォルダがありません。	● ネットワーク管理者へ相談のうえ、設定を行ってください。
	IP アドレス未設定、ネットワークその他のエラー	● L1 ～ L4 エラー表示以外が発生しました。	● 電源プラグをコンセントから抜きもう一度コンセントに差し込み直してください。
	ネットワーク設定リセットエラー	● ネットワークの設定リセットエラーが発生しました。	● ネットワークリセット番号が間違っています。正しい番号を入れてやり直してください。（44 ページ参照）
	ヘッダー、フッター書き込みエラー	● 挿入する画像サイズが大きい場合に発生します。	● 画像の調整を行ってから、やり直してください。

ネットワーク関係のエラーは本体とネットワークとのアクセス上のエラー表示です。ネットワークシステムに関係している場合がありますので、一度ネットワーク管理者にご相談ください。それでも直らない場合は、本機の故障も考えられます。お買い上げの販売店にお問い合わせください。

故障と思われる前にもう一度ご確認ください

修理を依頼される前に次のことをご確認ください。

	状　態	ご確認ください
コピーボード（本機）関係	電源 ⏻ ボタンを押して電源が入らない	● 電源プラグが壁面の電源コンセントしっかり差し込まれているか確認してください。また本体底面の DC 端子の DC プラグがしっかり差し込まれているか確認してください。 （電源プラグを 1 度コンセントから抜き、数秒後に再度コンセントに差してください。） ［別売のプリンタテーブル（AC アダプタボックス付き）をご利用の場合］ プリンタテーブルの AC アダプタボックスの中にある AC 電源アダプタ側のプラグがテーブルタップからから抜けていないか確認してください。
	シートに記入した文字がイレーサーで消えない	● 専用マーカー以外のマーカーを使用していませんか？
	文字や線が印刷または画像データに表示されない部分がある	● 文字のかすれや薄い線は印刷や画像データに表示できない部分があります。
	読み取ったコピー（画像）が汚い、イレーサーで消去しても「消し忘れ機能」が動作する	● シートにマーカーの消し残し、またはカスがたくさん付着していませんか？（汚れている場合は、やわらかい布に水をふくませ、かたく絞ってから、シートをなでるように拭いてください。）
	本機と PC 接続の場合、パソコンが本機を認識しない	● 本機が動作できる状態になっているか、また USB ケーブルが正しく接続するかご確認ください。 ● 本機を USB ハブを通してパソコンと接続していませんか？ （直接パソコンの USB ポートに接続してください。）
	日付が更新されない	● 本機のバッテリー切れです。お買い上げの販売店にお問い合わせください。

※以上の処置を行っても直らない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

	状　態	ご確認ください
プリンタ関係	本体の電源は入るが、プリンタの電源が入らない	● プリンタ側の電源プラグ（DC プラグ）がしっかり差し込まれていますか確認してください。 それでも、電源が入らない場合は、AC アダプタボックスの中にあるプリンタの AC 電源アダプタ側のプラグが AC 電源アダプタから抜けていないか確認してください（プリンタによっては直付けの場合があります）。
	カラー印刷 ▤ ボタン（またはモノクロ ◪ 印刷ボタン）を押しても印刷ができない	● 本体底面のプリンタ端子の USB プラグまたはプリンタの USB プラグがしっかり差し込まれているか確認してください。 ● プリンタの電源ランプが点灯していることを確認してください。 ● 本体のステータスランプおよびプリンタのエラーランプが点灯していないか確認してください。 ● 本機の表示窓にエラー表示をしている場合は 49 ページをご覧ください。 （プリンタのエラーについては、プリンタの取扱説明書を参照してください。）
	用紙送りがおかしい	● 用紙が湿気をおびていたり、用紙が薄すぎるまたは用紙が厚すぎる、用紙を 1 枚しかセットしていない、用紙が曲がってセットしている等（プリンタの取扱説明書をご覧ください。）
	特定の色が印字されない変色して印字される	● 新しいインクカートリッジに交換してください。
	印刷されない	● インクカートリッジが正しくセットされているか確認してください。 ● プリントヘッドがつまっていないか確認してください。
	・ 印字等がかすれたり、白いすじが入る場合や、ページが汚れる。 ・ 印字した色が、使用したマーカー色と著しく異なる。	● インクカートリッジのノズルがつまっていませんか？ ◆テスト印刷をし、プリントヘッドおよびノズルの状態をご確認ください。

※プリンタは別売です。

エラー表示の情報内容の「ネットワーク（本体）関係」50 ページも合わせてご覧ください。

	状　態	ご確認ください
ネットワーク関係	ネットワーク通信ができない	● LAN ケーブルが正しく差し込まれていますか？ ● LAN ケーブルの不良が考えられます。 ストレートケーブル（10Base-T または 100Base-TX 対応）を使用し、本機と接続してください ● IP アドレス・サブネットマスクを「ネットワーク簡易設定（USB 経由）から、設定してください。 ※必ずネットワーク管理者に確認してから、各設定を行ってください。
	ログインができない	● ユーザー名およびパスワードを入力する際、パソコンのキーボードが Caps Lock の設定になっていませんか？

テスト印刷の方法

1）本機の電源入っている状態（表示窓点灯）で印刷枚数ボタンを押して表示窓に “ P” を表示させます。
2）カラー印刷の場合はカラー印刷ボタン、モノクロ印刷の場合はモノクロ印刷ボタンを押します。
●テスト印刷が開始されます。

印字結果を確認

・ 各インクのラインが均一に表示されているか。
・ ドット抜け、ラインのかすれ、他のインクより薄いライン等はないか。

◆ ノズルがつまっている場合はノズルを清掃してください。
◆ ノズルを清掃しても印刷品質が改善されない場合は、ノズルと接触面のインクをふき取ってください。
詳しくはプリンタ付属の「 ユーザーガイド 」(CD-ROM に収納) をご覧ください。

※印刷の問題、プリンタのメンテナンス等、プリンタに関する詳細はプリンタの取扱説明書をご覧ください。

●本体内蔵プログラムを更新する

プログラムの更新方法および、最新プログラムの入手については、弊社のホームページからダウンロードしてください。

仕　様

ボードタイプ（型名）			N-20J
形態	設置方式		壁掛け または 自立型（T 字脚）※1
	本体外形寸法		W1080 × D72 × H700mm
	本体質量		10Kg
	T 字脚外形寸法（本体含む）※1		W1080 × D674 × H1743※3mm
	T 字脚質量※1, ※2		10.5kg
ボード	ボード面寸法		W900 × H600mm
	読取有効寸法		W880 × H590mm
	面数		2 面
	ページ送り		一方向エンドレス（横スクロール）
	駆動方式		シート移動式
	読取方式		CIS（Contact Image Sensor）
	読取照明光源		RGB LED
	読取解像度		主走査方向（シート面 縦）3.84dot/mm（100dpi 相当） 副走査方向（シート面 横）1.92dot/mm（50dpi 相当）
	読取時間		モノクロ約 11 秒
			カラー約 11 秒
インターフェース	ボード	ファイル形式	JPEG、PNG、PDF
		画面サイズ	標準 864 × 576 ドット 高解像度 1728 × 1152 ドット
	外部メモリ	種類	USB フラッシュメモリ※4
		ファイルフォーマット	FAT16, 32
		インターフェース	USB 1.1 または USB2.0
	ネットワーク	LAN ポート	RJ-45（10Base-T/100Base-TX）
	印刷	プリント解像度	300dpi 相当
		プリント色数	8 色カラー または 2 色モノクロ
		プリンタインタフェース	USB2.0 準拠
付加機能	時計		タイムスタンプ及び保存ファイルの日付プロパティに使用
	PC 接続		USB 経由で画像の取得、および機器設定が可能（ブラウザ対応）
電源	AC 電源アダプタ		入力：AC100-240V ／ 50-60Hz　最大 0.75A 出力：DC 12V, 3.0A
	消費電力		待機時：3W、動作時：8W（プリンタを除く）
使用条件	温度		10℃～ 35℃
	湿度		30%～ 85%（ただし、無結露状態）
その他	罫線		34mm 方眼
	筆記具		専用マーカー（黒・赤・青・緑）
動作環境	OS		標準の USB ポートを搭載した IBM PC/AT 完全互換機 XP (Home Edition /Professional Edition Service Pack 2 以上）/ Vista（32bit バージョン）/Windows7(32bit/64bit バージョン） または、標準の USB ポートを搭載した Apple　Macintosh Mac OS X 10.5 以上
	Web ブラウザ		Windows：Internet Explorer 8.0 以上 Macintosh：Safari 5 以上 ※ JavaScript を有効にしてください。

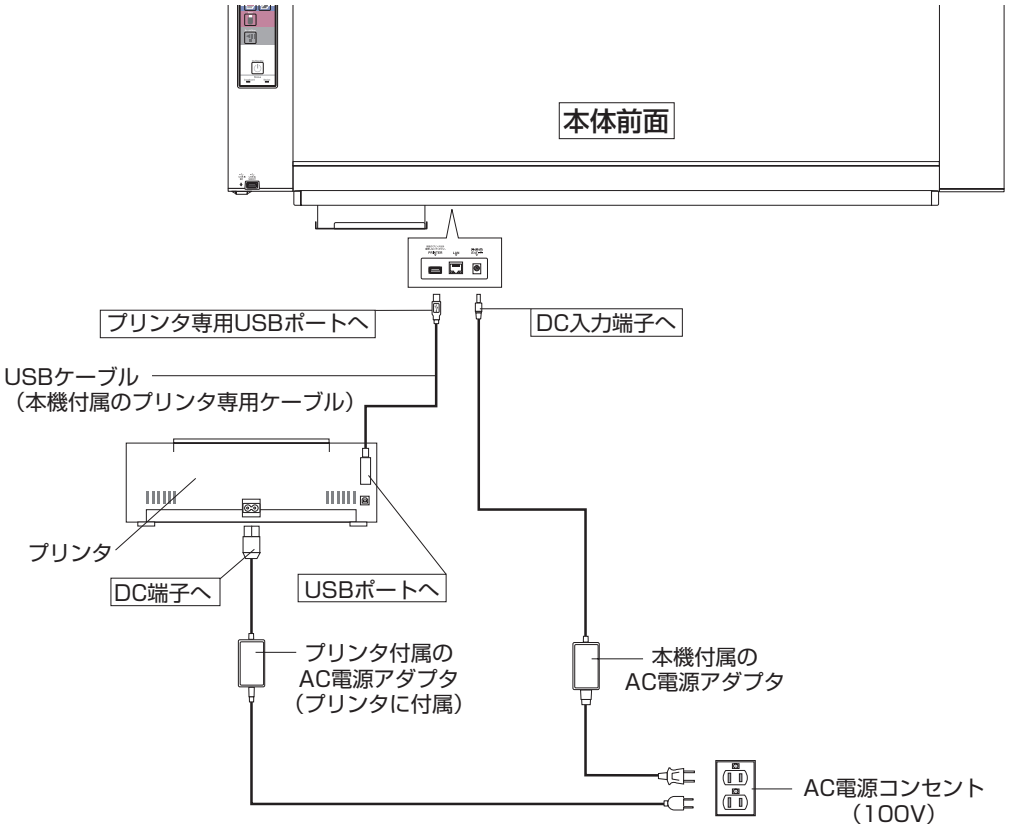
※ 1：T 型脚（スタンド）は別売です。1493、1743mm の 2 段階に高さ調節ができます。
※ 2：T 型脚（スタンド）でプリンタテーブルが据え付けられていないモデルもあります。
※ 3：H（高さ）は最大値の寸法を記載しています。
※ 4：USB メモリは付属しておりません。
●品質改善のため、予告なく本体外観、仕様などを変更することがあります。あらかじめご了承ください。

付録

接続配線図

● 下記の接続配線図は接続確認のために掲載しています。

【本機とプリンタとの接続図】



※図のプリンタはイメージイラストです。

お知らせ

動作確認済みプリンタの AC 電源アダプタは接続図と異なっている機種（内蔵タイプ・組付けタイプ）もあります。

アフターサービス

お手持ちの製品が故障した場合は、次の要領で修理させていただきます。お近くの弊社営業所・販売会社・取扱い店、もしくは弊社「お問い合わせセンター」にお申し出ください。なお、保証内容、使い方など不明な点につきましても、お近くの弊社営業所・販売会社・取扱い店、もしくは弊社「お問い合わせセンター」にお問い合わせください。

●無料修理

故障した製品についてはご購入年月日、販売店名の記入された保証書（ご購入日より 1 年以内）が添付されている場合には、保証書に記載されている内容の範囲で、無料修理させていただきます。
※詳しくは、保証書に記載されている製品保証規定をご覧ください。

●有料修理

保証期間を過ぎた修理は、原則として有料となります。保証期間内にあっても、下記のような場合はすべて有料となります。また、運賃諸掛りは、お客様にご負担願います。

1. 修理ご依頼の際、保証書の提示または添付のないもの。
2. 保証書にご購入年月日、販売店名が記入されていない場合、または字句が書き換えられている場合。
3. 弊社または取扱店以外で分解、改造されたもの。
4. 火災、地震、風水害などの天災による損傷、故障。
5. お取扱い上の不注意 (使用説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水掛り、砂･泥の付着、機内部への水･砂・泥の入り込みなど)、保管上の不備 (高温多湿やナフタリン、樟脳の入った場所での保管)、お手入れの不備 (かび発生) により生じた故障。
6. 上記以外で弊社の責に帰することのできない原因により生じた故障。
7. 各部点検、精密検査、分解掃除などを特別に依頼されたもの。

● 修理不能

浸（冠）水、強度の衝撃、その他で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの、および部品の手当が困難なものなどは修理できない場合もありますので、お近くの弊社営業所・販売会社・取扱い店、もしくは弊社「お問い合わせセンター」にお問い合わせください。

●修理ご依頼に際してのご注意

1. 保証規定による修理をお申し出になる場合には、必ず保証書を添えてください。
2. ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。
3. 修理箇所のご指定がないとき、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
4. 修理に関係のない付属品類は、紛失などの事故をさけるため、修理品から取りはずしてお手元に保管してください。
5. 修理のために輸送する場合は、購入時の外箱か同等の箱に入れてしっかり包装してください。

●修理部品の保有期間

本機の補修用部品は、製造中止後 5 年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則としてお引受けいたします。なお、部品保有期間が終了している場合は、お近くの弊社営業所・販売会社・取扱い店、もしくは弊社「お問い合わせセンター」にお問い合わせください。

本製品に関するお問い合わせ

TEL 0120-944-086　　FAX 0120-331-859

※携帯電話・PHS からもご利用いただけます。

受付時間：月～金　9：00 ～ 17：30（土・日・祝日、年末年始および当社指定の休日を除く）

PLUS Corporation
プラス株式会社

本製品に関するお問い合わせ
TEL 0120-944-086
FAX 0120-331-859

ISO 14001 認証取得

©2012, PLUS Corporation

31-4602-12A